

月日	課長	係長	係員
供決 覧裁	浦地	藤岡	日高

(第2号様式)

アイランドシティはばたき公園指定管理者事業報告書

令和 8年 4月 30日

福岡市長

指定管理者

はばたきエコパーク・マネジメントチーム共同事業体 /

事業を実施しましたので、下記の通り報告します。

- 1 管理業務実施報告
- 2 利用状況報告
- 3 使用料収納実績
- 4 利用者アンケート結果、利用者からの苦情と件数
- 5 利用者サービスの向上・適正利用に向けた取り組みとその進捗状況
- 6 公園の効用の十分な発揮に向けた取り組みとその進捗状況
(施設の適切・効率的な維持管理、公園の特色を活かす事業展開)
- 7 職員の育成、地域との連携に向けた取り組みとその進捗状況
- 8 指定管理経費の節減(効率的な配分)に向けた取り組みとその進捗状況
- 9 社会的貢献とコンプライアンス、環境への配慮に向けたとその進捗状況
- 10 修繕費執行状況
- 11 光熱水費の管理状況
- 12 指定管理者企画事業の収支状況
- 13 指定管理経費決算報告
- 14 提案項目の進捗状況
- 15 指定管理者企画事業の進捗状況
- 16 参考資料(ニュースレター、チラシ、イベント写真など)

[illegible]

R7年度点検計画

管理業務の内容			実施月												備考	法定点検	点検業務の内容	適用
大分類	中分類	小分類	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
1. 保守点検 管理業務	01. 建築物保守	001. 建築外部仕上げ部保守点検業務	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	異常なし	異常なし	
		建築物保守	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	異常なし	異常なし
		建築物構造部保守点検業務	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	異常なし	異常なし
		外溝等付属工作物保守点検業務	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	異常なし	異常なし
	02. 建築物等保守管理業務	002. 建築物の敷地及び構造	●														該当施設では無いため未実施	
		建築物の昇降機以外の建築設備	●														該当施設が無いため未実施	
	02. 電気・通信情報設備管理業務	法令点検	●														適用外	
		003. 付帯設備	●														適用外	
		001. 受変電設備	●														適用外	
		002. 動力・電灯設備	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	異常なし	異常なし
03. 消防設備管理業務	003. 自家発電設備	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	異常なし	異常なし	
	自家発電設備保守点検整備業務	●														適用外		
	004. 月次点検	●														適用外		
	001. 消防器具法定点検業務 (三光ハウスにて実施)	●													6月25日 異常なし	2月9日 異常なし		
2. 点検業務	01. 消防設備管理業務	消防設備 (消防報 告1回/ 年)	●													該当施設が無いため未実施		
		スプリンクラー設備法定点検業務	●														該当施設が無いため未実施	
		自動火災報知設備法定点検業務	●														該当施設が無いため未実施	
		ガス漏れ火災報知設備法定点検業務	●														該当施設が無いため未実施	
	02. 非常警報器具及び設備	非常警報器具及び設備法定点検業務	●														該当施設が無いため未実施	
		避難器具法定点検業務	●														該当施設が無いため未実施	
	03. 避難器具法定点検業務	避難器具法定点検業務	●														該当施設が無いため未実施	
		避難器具法定点検業務	●														該当施設が無いため未実施	
		避難器具法定点検業務	●														該当施設が無いため未実施	
		避難器具法定点検業務	●														該当施設が無いため未実施	

2 利用状況報告

指定管理者 はばたきエコパーク・マネジメントチーム共同事業体

◆アイランドシティはばたき公園利用者数

	R7年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R7年度合計	R6年度合計	前年比
団体利用回数（別紙-1参照）	回数	1	0	1	1	0	0	3	6	1	2	1	0	16	9	177.8%
団体利用人数（別紙-1参照）	人数	120	0	6	60	0	0	68	135	5	130	24	0	548	680	80.6%
イベント回数（別紙-2参照）	回数	6	9	6	15	8	4	6	6	6	6	9	10	91	83	109.6%
イベント参加者（別紙-2参照）	人数	54	121	61	111	75	32	58	33	19	26	74	172	836	659	126.9%
アンケート回収	枚数	42	30	60	93	68	32	56	27	19	26	36	70	559	395	141.5%
内訳 東区	人数	24	24	26	72	50	10	26	14	7	17	22	38	330	254	129.9%
福岡市内	人数	18	6	32	21	13	17	26	8	9	5	10	27	192	100	192.0%
福岡県内	人数	0	0	1	0	5	4	4	5	3	3	4	5	34	38	89.5%
福岡県外	人数	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	3	3	100.0%
アンケート内容 構成比																
内訳 東区		57.1%	80.0%	43.3%	77.4%	73.5%	31.3%	46.4%	51.9%	36.8%	65.4%	61.1%	54.3%	59.0%	64.3%	91.8%
福岡市内		42.9%	20.0%	53.3%	22.6%	19.1%	53.1%	46.4%	29.6%	47.4%	19.2%	27.8%	38.6%	34.3%	25.3%	135.8%
福岡県内		0.0%	0.0%	1.7%	0.0%	7.4%	12.5%	7.1%	18.5%	15.8%	11.5%	11.1%	7.1%	6.1%	9.6%	63.4%
福岡県外		0.0%	0.0%	1.7%	0.0%	0.0%	3.1%	0.0%	0.0%	0.0%	3.8%	0.0%	0.0%	0.5%	0.8%	67.1%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
ボランティア活動（別紙-3参照）	回数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	2	3	24	17	141.2%
ボランティア参加（別紙-3参照）	人数	0	0	0	1	0	0	39	11	5	0	1	2	59	67	88.1%
双眼鏡貸出し数	回数	39	11	13	23	4	4	13	25	5	6	14	17	174	368	47.3%

◆有料駐車場利用台数

※アマノ月報内訳表より		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R7年度合計	R6年度合計	前年比
駐車場利用台数①		1,288	1,265	1,364	1,674	1,247	1,297	1,410	1,630	1,307	1,305	1,260	1,410	16,457	9,635	170.8%
内 一般 ①-（②+③+④）	台	1,144	1,056	1,213	1,494	1,042	1,066	1,180	1,372	1,026	1,152	1,073	1,187	14,005	8,086	173.2%
ミライID ②	台	22	31	42	54	49	58	53	57	34	42	66	66	574	141	407.1%
障がい者利用 ③	台	2	10	1	1	2	1	3	1	1	2	5	5	34	41	82.9%
関係者 ④	台	120	168	108	125	154	172	174	200	246	109	116	152	1,844	1,367	134.9%
駐車場利用台数（関係者を除く）①-④	台	1,168	1,097	1,256	1,549	1,093	1,125	1,236	1,430	1,061	1,196	1,144	1,258	14,613	8,268	176.7%

◆有料駐車場使用料

※アマノ月報内訳表より		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R7年度合計	R6年度合計	前年比
現金	円	312,700	224,600	315,000	341,600	223,900	214,500	207,700	260,100	218,700	208,600	211,700	237,400	2,976,500	1,473,800	202.0%
交通系電子カード	円	59,200	63,800	108,600	88,500	93,500	64,400	49,800	81,900	68,000	74,200	103,800	91,900	947,600	371,500	255.1%
合計	円	371,900	288,400	423,600	430,100	317,400	278,900	257,500	342,000	286,700	282,800	315,500	329,300	3,924,100	1,845,300	212.7%

No	月	日	団体名	人数	小計
1	4	21	照葉北小学校3年生（自分の街を知ろう！）	120	120
2	6	9	ECO海洋専門学校（雨天中止）	0	
3	6	23	九州産業大学（永松教授）	6	6
4	7	16	九州産業大学(内田教授)	60	60
5	10	2	照葉北小学校2年生（自分の街を探検しよう）（相良先生）	32	
6	10	25	福岡工コ動物海洋専門学校校外授業	30	
7	10	31	福岡工コ動物海洋専門学校校外授業	6	68
8	11	10	照葉北小3年生（校外学習）（高田先生）	30	
9	11	11	四箇田小3年生（校外学習）（松田先生）	64	
10	11	26	はばたき小2年生（自分の街を知ろう）（山下先生）	30	
11	11	7	福岡工コ動物海洋専門学校校外授業	7	
12	11	14	福岡工コ動物海洋専門学校校外授業	4	135
13	12	12	福岡工コ動物海洋専門学校校外授業	5	5
14	1	25	福岡ボーイスカウト	10	
15	1	26	はばたき小学校1年生（120名）（冬の生きもの）	120	130
16	2	28	香椎浜公民館(子ども会) バードウォッチング（足立館長）	24	24
	合計				548

No	月	日	団体名	人数	小計
1	4	19	バードウォッチング（もっと鳥が好きになる）	12	
2	4	19	バードウォッチング（初心者）	13	
3	4	19	科学の目「チョウ」	4	
4	4	19	自然生きもの調査隊「幼虫を探せ」	15	
5	4	20	サポーター養成講座「トレジャーハンター」	10	
6	4	20	レンジャー養成講座「ヨモギの採取」	0	54
7	5	5	はばたき公園フェスタ（各ワークショップ参加者）	56	
8	5	6	はばたき公園フェスタ（各ワークショップ参加者）	30	
9	5	13	出張バードウォッチング（三日月山）	0	
10	5	17	バードウォッチング（もっと鳥が好きになる）	4	
11	5	17	バードウォッチング（初心者）	5	
12	5	17	科学の目「コチドリ」	2	
13	5	17	自然生きもの調査隊「カメムシ」	9	
14	5	18	サポーター養成講座「押し花作り」	13	
15	5	18	レンジャー養成講座「コウキヤガラ抜き」	2	121
16	6	21	バードウォッチング（もっと鳥が好きになる）	4	
17	6	21	バードウォッチング（初心者）	4	
18	6	21	科学の目「ミジンコ」	12	
19	6	21	自然生きもの調査隊「水生昆虫」	24	
20	6	22	サポーター養成講座「鳥の羽根で展示物を作ろう」	7	
21	6	22	レンジャー養成講座「動物の住处づくり」	10	61
22	7	19	バードウォッチング（もっと鳥が好きになる）	3	
23	7	19	バードウォッチング（初心者）	5	
24	7	19	科学の目「スズメバチ」	10	
25	7	19	自然生きもの調査隊「トンボ大調査」	19	
26	7	20	サポーター養成講座「レジン標本作り」	10	
27	7	20	レンジャー養成講座「ナルトサワギク抜き」	1	
28	7	24	夏休み特別企画「エコ風鈴づくり」	13	
29	7	24	めざせ鳥博士「とりの足あと」	7	
30	7	24	セミを大調査	2	
31	7	24	セミの標本作り	7	
32	7	25	土のお掃除屋さん①「アリ」	2	
33	7	25	土のお掃除屋さん②「ミミズ」	1	
34	7	25	めざせ虫博士「虫の翅」	4	

35	7	25	鳥から学ぶ飛行機づくり	9	
36	7	25	夜の昆虫観察会「ライトトラップ」	18	111
37	8	16	科学の目「ヌマガエル」	6	
38	8	16	しぜん生きもの調査隊「カマキリ大調査」	12	
39	8	17	サポーター養成講座「昆虫識別講座」	5	
40	8	17	レンジャー養成講座「インセクトホテルづくり」	3	
41	8	18	夏休み自由研究駆け込み講座	4	
42	8	18	トンボの標本作り	15	
43	8	18	鳥の巣の標本作り	14	
44	8	18	夜の生きもの観察会「ライトトラップ」	16	75
45	9	20	もっと鳥が好きになるバードウォッチング	0	雨天中止
46	9	20	初心者向けバードウォッチング	0	雨天中止
47	9	20	科学の目「カマキリ」	16	
48	9	20	しぜん生きもの大調査「チョウ」	9	
49	9	21	サポーター養成講座「資料写真撮影」	4	
50	9	21	レンジャー養成講座「コウキヤガラ抜き」	3	32
51	10	18	もっと鳥が好きになるバードウォッチング	4	小雨決行
52	10	18	初心者向けバードウォッチング	8	小雨決行
53	10	18	科学の目「ミズカマキリ」	20	
54	10	18	しぜん生きもの大調査「ミズカマキリを探せ」	14	
55	10	19	サポーター養成講座「大人の昆虫標本作り」	4	
56	10	19	レンジャー養成講座「ミサゴの止まり木修繕」	8	58
57	11	15	もっと鳥が好きになるバードウォッチング	5	
58	11	15	初心者向けバードウォッチング	8	
59	11	15	科学の目「植物の色・・草木染」	4	
60	11	15	しぜん生きもの大調査「外来種を探せ」	8	
61	11	16	サポーター養成講座「展示用野鳥の模型作り」	1	
62	11	16	レンジャー養成講座「体験ピオトープ作業・part-1」	7	33
63	12	20	もっと鳥が好きになるバードウォッチング	4	
64	12	20	初心者向けバードウォッチング	0	
65	12	20	科学の目「ウシガエル」	6	
66	12	20	しぜん生きもの大調査「羽根大調査」	3	
67	12	21	サポーター養成講座「展示用野鳥の模型作り・part-2」	1	
68	12	21	レンジャー養成講座「自然と繋がろう～あしもと編～」	5	19
69	1	17	もっと鳥が好きになるバードウォッチング	6	
70	1	17	初心者向けバードウォッチング	4	

71	1	17	科学の目[タヌキ]	4	
72	1	17	しぜん生きもの大調査「フィールドサイン」	4	
73	1	18	サポーター養成講座「生物分類技能検定講習」	7	
74	1	18	レンジャー養成講座「バードハイドの補修」	1	26
75	2	21	もっと鳥が好きになるバードウォッチング	2	
76	2	21	初心者向けバードウォッチング	6	
77	2	21	科学の目[植物の力～タネ～]	2	
78	2	21	しぜん生きもの大調査「冬の生きもの大調査」	9	
79	2	21	星空観望会	33	
80	2	22	サポーター養成講座「骨格標本作成講座」	6	
81	2	22	レンジャープロジェクト「フウセントウワタ抜き」	4	
82	2	23	あなたが伝えるバードウォッチング（中級編）	9	
83	2	23	あなたが伝えるバードウォッチング（上級編）	3	74
84	3	7	キャンドルナイトイベント（概算）	100	
85	3	20	科学の目「植物の力～守る～」	14	
86	3	20	しぜん生きもの大調査「五感で感じる！生きもの大調査」	14	
87	3	21	もっと鳥が好きになるバードウォッチング	7	
88	3	21	初心者向けバードウォッチング	3	
89	3	21	科学の目「ナナホシテントウ」	12	
90	3	21	しぜん生きもの大調査「早春の生きもの大調査」	11	
91	3	22	サポーター養成講座「令和7年活動報告会」	4	
92	3	22	レンジャープロジェクト「ナルトサワギク抜き」	2	
93	3	28	セカンドライフ講座「草花散歩撮影講座」	5	172
	合計			836	836

No	月	日	団体名	人数	小計
1	4	1	園外ゴミ清掃活動(職員のみで実施)	0	
2	4	15	園外ゴミ清掃活動(職員のみで実施)	0	0
3	5	1	園外ゴミ清掃活動(職員のみで実施)	0	
4	5	15	園外ゴミ清掃活動(職員のみで実施)	0	0
5	6	1	園外ゴミ清掃活動(職員のみで実施)	0	
6	6	15	園外ゴミ清掃活動(職員のみで実施)	0	0
7	7	1	園外ゴミ清掃活動(職員のみで実施)	0	
8	7	15	園外ゴミ清掃活動	1	1
9	8	1	園外ゴミ清掃活動(職員のみで実施)	0	
10	8	15	園外ゴミ清掃活動(職員のみで実施)	0	0
11	9	1	園外ゴミ清掃活動(職員のみで実施)	0	
12	9	15	園外ゴミ清掃活動(職員のみで実施)	0	0
13	10	1	園外ゴミ清掃活動(職員のみで実施)	0	
14	10	15	園外ゴミ清掃活動	3	
15	10	25	福岡エコ動物海洋専門学校(校外事業)	30	
16	10	31	福岡エコ動物海洋専門学校(校外事業)	6	39
17	11	1	園外ゴミ清掃活動(職員のみで実施)	0	
18	11	7	福岡エコ動物海洋専門学校(校外事業)	7	
19	11	14	福岡エコ動物海洋専門学校(校外事業)	4	11
20	11	15	園外ゴミ清掃活動(職員のみで実施)	0	
21	12	1	園外ゴミ清掃活動(職員のみで実施)	0	
22	12	12	福岡エコ動物海洋専門学校(校外事業)	5	
23	12	15	園外ゴミ清掃活動(職員のみで実施)	0	5
24	1	15	園外ゴミ清掃活動(職員のみで実施)	0	0
25	2	1	園外ゴミ清掃活動(職員のみで実施)	0	
26	2	15	園外ゴミ清掃活動	1	1
27	3	1	園外ゴミ清掃活動(職員のみで実施)	0	
28	3	15	園外ゴミ清掃活動(職員のみで実施)	0	
29	3	22	ナルトサワギク抜き(レンジャープロジェクト)	2	2
	合計			59	59

3 使用料収納実績

指定管理者 はばたきエコパーク・マネジメントチーム共同事業体

◆有料駐車場

		収納金（円）	駐車場利用台数	内訳（台）				
	月	GT集計より	月報内訳表より	一般	ミライロ-ID	障がい者	関係者	関係者除く
R7年	4月	310,100	1,288	1,144	22	2	120	1,168
	5月	226,200	1,265	1,056	31	10	168	1,097
	6月	314,600	1,364	1,213	42	1	108	1,256
	7月	333,200	1,674	1,494	54	1	125	1,549
	8月	228,300	1,247	1,042	49	2	154	1,093
	9月	218,500	1,297	1,066	58	1	172	1,125
	10月	207,800	1,410	1,180	53	3	174	1,236
	11月	255,700	1,630	1,372	57	1	200	1,430
	12月	198,000	1,307	1,026	34	1	246	1,061
R8年	1月	231,600	1,414	1,261	42	2	109	1,305
	2月	209,100	1,376	1,189	66	5	116	1,260
	3月	237,400	1,562	1,339	66	5	152	1,410
	合計	2,970,500	16,834	14,382	574	34	1,844	14,990
R6年度	年間	1,473,800	9,635	8,086	141	41	1,367	8,268
前年度比	年間	201.6%	174.7%	177.9%	407.1%	82.9%	134.9%	181.3%

令和7年度の使用料収納実績は下記の通りです。

指定管理者 はばたきエコパーク・マネジメントチーム共同事業体

収納金の状況

区分	前月からの繰越		収納金		払込金		翌月への繰越	
	件数	金額（円）	件数	金額（円）	件数	金額（円）	件数	金額（円）
4月分			5	346,600	5	334,300	1	12,300
5月分	1	12,300	5	226,200	5	200,600	1	37,900
6月分	1	37,900	5	314,600	5	289,300	1	63,200
7月分	1	63,200	5	333,200	5	355,000	1	41,400
8月分	1	41,400	5	228,300	5	232,900	1	36,800
9月分	1	36,800	6	218,500	6	247,700	1	7,600
10月分	1	7,600	5	207,800	5	187,600	1	27,800
11月分	1	27,800	6	261,700	4	237,800	1	51,700
12月分	1	51,700	5	198,000	5	208,300	1	41,400
1月分	1	41,400	5	231,600	5	237,800	1	35,200
2月分	1	35,200	5	209,100	5	198,500	1	45,800
3月分	1	45,800	6	237,400	5	273,100	1	10,100
合計			63	3,013,000	60	3,002,900		

現金領収帳の受払状況

受 入			使用済み 領収帳 （冊）	交付中 領収帳 （冊）	未交付 領収帳 （冊）
前年度から の繰越 （冊）	本年度中 作成（冊）	合計（冊）			
0	1	1	0	1	0

現金領収書使用状況

	消印済（冊）	書損（枚）	累計（枚）
4月分	0	0	0
5月分	0	0	0
6月分	0	0	0
7月分	0	0	0
8月分	0	0	0
9月分	0	0	0
10月分	0	0	0
11月分	0	0	0
12月分	0	0	0
1月分	0	0	0
2月分	0	0	0
3月分	0	0	0
合計	0	0	

4 利用者アンケート結果、利用者からの苦情と件数

◆苦情・要望に関して

指定管理者 はばたきエコパーク・マネジメントチーム共同事業体

※集計

		件数
苦情件数	施設に関して	0
	管理に関して	0
	合計	0
要望件数	施設に関して	0
	管理に関して	1
	合計	1
合計	施設に関して	0
	管理に関して	1
	合計	1

※詳細

	月	申し出方法	項目	内容	対応策
苦情				苦情は有りませんでした	
				苦情は有りませんでした	
要望	8月	お問い合わせメール	要望	公園前の歩道の除草	8月、9月の毎月第一日曜日に職員で除草を行いました。

4 利用者アンケート結果、利用者からの苦情と件数

◆アンケートに関して

アンケート

		人数	小計	構成比	コメント
居住地	東区	330		59.0%	東区在住が59.0%であるが、福岡市内在住は23.5%で昨年比+10.8%となり、広域からの来園者も増えつつある
	福岡市内	192		34.3%	
	福岡県内	34		6.1%	
	福岡県外	3	559	0.5%	
交通手段	自家用車	431		77.1%	イベント時では家族連れの利用者が多い為、自家用車の利用が多く、近隣でも車で来園される傾向がある
	自転車	61		10.9%	
	バイク	3		0.5%	
	バス	29		5.2%	
	電車	3		0.5%	
	徒歩	30		5.4%	
	のりーと	2	559	0.4%	
年齢	1～3年生	199		35.6%	傾向としては、昨年と変わらず。小学生とその保護者の来園が多い
	4～6年生	86		15.4%	
	中高生	5		0.9%	
	20代	16		2.9%	
	30代	82		14.7%	
	40代	95		17.0%	
	50代	22		3.9%	
	60代以上	54	559	9.7%	
誰と来ましたか	家族	415		74.2%	傾向は昨年と変わらず、家族連れが大半である
	友人	38		6.8%	
	一人	105		18.8%	
	その他	1	559	0.2%	
はばたき公園には初めて来しましたか	毎日	12		2.1%	開園して約2年となり、「初めて」が、まだ26.1%であるが、昨年に比べると▲11.6%と構成比は低くなっている
	週2～3回	30		5.4%	
	週1回	14		2.5%	
	月2～3回	116		20.8%	
	月1回	123		22.0%	
	年2～3回	84		15.0%	
	それ以下	34		6.1%	
	初めて	146	559	26.1%	
公園はどうでしたか	環境に役立つ	242		23.8%	昨年に比べて、各項目の構成比に大きな変化はないが、「環境」「自然」「学習」には興味がある方が多い
	学習のきっかけ	265		26.0%	
	運動が出来る	43		4.2%	
	癒される	85		8.3%	
	安全だった	67		6.6%	
	楽しめた	316	1018	31.0%	
イベントは楽しめましたか	楽しめた	530		94.8%	概ね、好意的な回答が多く、フリーアンサーのコメントからマンネリ化しない企画を今後も継続する
	普通	28		5.0%	
	楽しめなかった	1	559	0.2%	
公園の満足度（湿地や海に親しめる空間になっていたか）	満足	416		74.4%	遊具などまだ未設置で多少不満を感じている模様
	やや満足	121		21.6%	
	どちらでもない	14		2.5%	
	やや不満	7		1.3%	
	不満	1	559	0.2%	
また参加したいですか	思った	493		88.2%	概ね、好意的な回答が多く、フリーアンサーのコメントからマンネリ化しない企画を今後も継続する
	都合が合えば	59		10.6%	
	思わない	3		0.5%	
	わからない	4	559	0.7%	
イベント情報はどこで知りましたか	公園HP	153		26.9%	「公園HP」と「市政だより」で約半数を占めるが、2ヶ月に1回発行の「ニュースレター」は「はばたき小」「照葉北小」「照葉小」へ全2000枚配布しており、その反応は充分感じている
	市政だより	167		29.4%	
	公園配布チラシ	63		11.1%	
	学校での配布物	97		17.1%	
	SNSなど	65		11.4%	
	その他	23	568	4.0%	

5. 利用者サービス向上・適正利用に向けた取り組みとその進捗状況

指定管理者 はばたきエコパーク・マネジメントチーム共同事業体

令和7年度アイランドシティはばたき公園における「利用者サービス向上・適正利用に向けた取組みとその進捗状況」につきましては、以下の通りです。

取り組み内容	進捗状況
屋外トイレの専門業者による清掃（1回/毎月）	R7年10月より開始しました。通常は職員が毎日簡単な清掃は行っていますが、利用者に気持ちよく使っていただける様にしました。
犬の散歩のマナー向上	芝生広場供用開始に当たり、園内各所に「注意喚起」ポスターを掲示しました。特に「ノーリード」を無くすため「大看板」を設置し啓蒙を図りました。
除草の回数増	気温の上昇などで、雑草の生育が早く、美観を保つため、決められた回数以上に、除草を行いました。
花壇の整備	季節に応じた「花苗」を植えて、利用者の皆さんに楽しんでいただきました。
少雨対策	夏場の乾季時期に、芝生広場の灌水作業を意識して行いました。生き生きした緑の芝生を維持しました。

6. 公園の効用の十分な発揮に向けた取り組みとその進捗状況

指定管理者 はばたきエコパーク・マネジメントチーム共同事業体

令和7年度アイランドシティはばたき公園における「公園の効用など取り組んだ内容とその進捗状況」につきましては、以下の通りです。

取り組み内容	進捗状況
公園の特徴を活かしたイベント開催	毎月第三土曜日、日曜日には「バードウォッチング」「科学の目」「しぜん生きもの調査隊」「サポーター養成講座」「レンジャー養成講座」を開催し、公園内の自然環境を活用したイベントを行っています。
夜の「ナイト・トラップ」イベント	子どもたちに人気の「夜」のイベントを行いました。ライトに集まる昆虫などを捕まえ、生態など保護者の皆さんと学習しました。
星空観望会	専門講師による「星空観望会」を行いました。キャンセル待ちが出るほどの盛況で、盛り上がりしました。
ミニ博物館	園内の「昆虫」「爬虫類」「植物」などを飼育・展示し、さらに環境学習に役立つ「ポスター」などを掲示し、季節に応じて内容を変えています。
夏休み特別企画イベント	夏休みの自由研究の題材として、身近な生きものをテーマにした講座を開催しました。「エコ風鈴づくり」「目指せ鳥の足あと博士」「セミの大調査」「セミの標本作り」「アリ」「ミミズ」「虫の翅」「鳥から学ぶ飛行機づくり」「夜の生きもの観察会」「夏休み自由研究駆け込み講座」「トンボの標本」「鳥の卵の標本づくり」

7. 職員の育成、地域との貢献

指定管理者：はばたきエコパーク・マネジメントチーム共同事業体

令和7年度アイランドシティはばたき公園における「職員の育成、地域との貢献の取り組み内容とその進捗状況」につきましては、以下の通りです。

取り組み内容	進捗状況
キャンドルナイトイベント	次年度に近隣の住民の皆さんと行うべく、実験的に「キャンドルナイト」イベントを行いました。鳥の絵を1,000本のロウソクで縁取り、子供たちには「袋」に絵などを描いてもらい、ロウソクで浮かび上がる様子を楽しんでもらいました。次年度は、事前に「公民館」「学校」などと協働で、規模を拡大して行います。
AEDの使用方法	専門業者による「AED」の使用法方法を、職員で学びました。
園外ゴミ清掃活動	毎月1日、15日は公園外でのゴミ清掃活動を行いました。ボランティアの方の参加も募っていますが、参加者はまだ少なく、今後の課題です。
アイランドシティ20周年イベントの参加	はばたき公民館に出向き、ワークショップを行い参加者で楽しんでいただきました。
アイランドシティ文化祭の参加	総合体育館で行われるイベントで、ワークショップで参加し、楽しんでもらいました。
アイランドシティ広報会議の参加	隔月に開催される広報会議に参加し、各事業者の方々と情報交換など行い、地域で盛り上げる活動に参加しました。

8. 指定管理経費の節減

指定管理者：はばたきエコパーク・マネジメントチーム共同事業体

令和7年度アイランドシティはばたき公園における「指定管理経費節減の取り組み内容とその進捗状況」につきましては、以下の通りです。

取り組み内容	進捗状況
光熱費の節減	室内の温度を適温にする様にエアコンの調節を行いました。（夏季：28℃、冬季：18℃）さらに、服装でも調節するなど工夫をしました。
親会社による除草作業	除草、土木作業は外部業者に委託せず、グループ内の会社で行い、経費削減に努めました。
コンポスト作製	園内の残渣はコンポスト（たい肥）化により処分費の削減に努めました。
学生ボランティアの活用	西日本短期大学、福岡ECO海洋専門学校との連携をとり、湿地内の除草、草抜きの作業を行いました。
有能な職員の採用	自然、環境関係の知識、経験のある職員を採用し、維持管理業務の効率化、円滑化を図りました。

9. 社会的貢献とコンプライアンス、環境への配慮に向けた取り組みとその進捗状況

指定管理者：はばたきエコパーク・マネジメントチーム共同事業体

令和7年度アイランドシティはばたき公園における「社会的貢献などの取り組み内容とその進捗状況」につきましては、以下の通りです。

取り組み内容	進捗状況
個人情報保護	人物が特定できる「名簿」などは施設のできる場所で保管し、事務所外への持ち出しは厳禁しました。
歩道周辺の除草	公園の管理外の「歩道」の除草を行いました。
公園から始まるエコ活動	イベントの講座の中に「エコ」に関する内容を盛り込み、身近で出来るエコ活動などの講座を設けました。
環境学習の実施	毎月第3土・日曜日に「環境学習」に関連する内容を盛り込んだイベントを行いました。

10. 修繕費執行状況

令和7年度の「修繕費」は下記の通りです

指定管理者：はばたきエコパーク・マネジメントチーム共同事業体

月	修繕場所	修繕内容	修繕費（円）	施工業者
5	園内植込み	樹木の支柱の交換	54,000	三浦造園建設（株）
6	花壇	花苗の入れ替え	17,600	粕屋グリーン
6	園内植込み	樹木移植作業	69,300	三浦造園建設（株）
10	掲示板	コンパネ（掲示板修繕材料）	2,244	グッティ
11	花壇	花苗の入れ替え	22,000	粕屋グリーン
合計			165,144	

11. 光熱水費の管理状況表

令和7年度の「光熱水費の管理状況」は下記の通りです。

指定管理者：はばたきエコパーク・マネジメントチーム共同事業体

	令和6年度	
項 目	使用量	料 金
電 気	26,520 (kw/h)	961,983 (円)
水 道	140 (m ³)	57,410 (円)
合 計	26,660	1,019,393 (円)

◆電気使用量並びに料金

日 付	項 目	使用量	料金	内消費税
		(kw/h)	(円)	(円)
4月分	4/1~4/30	1,789	66,553	6,050
5月分	5/1~5/31	1,829	71,068	6,460
6月分	6/1~6/30	1,595	63,393	5,763
7月分	7/1~7/31	2,267	84,731	7,702
8月分	8/1~8/31	2,732	96,270	8,751
9月分	9/1~9/30	2,389	85,197	7,745
10月分	10/1~10/31	2,120	77,683	7,062
11月分	11/1~11/30	2,049	75,623	6,874
12月分	12/1~12/31	2,267	84,604	7,691
1月分	1/1~1/31	2,985	109,011	9,910
2月分	2/1~2/28	2,330	75,138	6,830
3月分	3/1~3/31	2,168	72,712	6,610
合 計		26,520	961,983	87,448

再生エネルギーに変更

◆水道使用量並びに料金

日 付	項 目	口径 20m/m (管理事務所、屋外トイレ)				
		使用量	水道料金	内消費税	下水道料金	内消費税
		(m ³)	(円)	(円)	(円)	(円)
4月分	2/21~4/23	8	6,000	545	3,458	314
6月分	4/23~6/25	8	6,000	545	3,458	314
8月分	6/25~8/26	103	30,314	2,755	20,951	1,904
10月分	8/25~10/22	6	3,038	276	1,757	159
12月分	10/22~12/22	9	6,038	548	3,486	316
2月分	12/22~2/23	6	6,020	547	3,471	315
合 計		140	57,410	5,216	36,581	3,322

芝生広場灌水

12. 指定管理者企画事業の収支状況
令和 7年度 指定管理者企画事業収支報告書

はばたきエコパーク・マネジメント共同事業体
運出者の名称及び番氏名 所長

収 入		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
収 入	前年度繰越額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	はばたきフェスタワーク ショップ(参加費)	0	36900	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	36900
	もっと鳥が好きになるバー ドウォッチング(参加費)	3600	900	1200	900	0	0	1200	2400	1500	1200	900	1800	15600
	初心者バードウォッチング (参加費)	1700	900	1200	1500	0	0	2400	1500	0	1200	1200	900	12500
	科学の目(参加費)	900	600	3600	3000	1800	4800	6000	1200	1500	1500	600	9900	35400
	しびんまきもの展覧会(参加費)	5100	2700	7200	5700	3600	2100	4200	2400	900	1500	600	6000	42000
	1020周年イベント	0	0	0	0	0	0	0	21600	0	0	0	0	21600
	夜空の星(参加費)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15600	0	15600
	ライトラップ(参加費)	0	0	0	0	8000	0	0	0	0	0	0	0	8000
	夏休み特別企画(参加費)	0	0	0	31500	16500	0	0	0	0	0	0	0	48000
	アイランドシティ秋祭り 文化祭(ワークショップ)	0	0	0	0	0	0	0	4500	0	0	0	0	4500
	トートバッグ販売	7000	3500	0	0	0	0	14000	3500	0	0	3500	0	31500
	スタンドグラス作成(ワ ークショップ)	0	0	0	0	0	0	0	200	0	0	0	0	200
	バードコール	4000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4000
	ピンパッチ	0	0	2000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2000
収入計		22,300	45,500	15,200	42,600	29,900	6,900	27,600	37,300	3,900	5,400	22,400	18,600	277,900
出 支	イベント保険	11,280	0	3,015	11,555	0	3,015	3,015	3,015	3,015	3,015	3,517	4,019	48,461
	イベント材料費	27,067	21,166	220	12,999	31,714	9,867	18,030	1,599	0	25,025	3,080	17,327	168,044
	バルーンアート技術料		10,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10,000
	トートバッグ仕入れ	0	0	0	0	15,000	0	0	0	0	0	0	0	15,000
	レンジャープロジェクト講師料	0	0	0	0	0	0	0	0	20,000	0	0	0	20,000
	星空観察会講師料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10,000	0	10,000
	販売用バードコール購入費	0	0	10,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10,000
	華花園撮影歩調師代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20,000	20,000
	支出計	38,337	31,166	13,235	24,514	46,714	12,882	21,045	4,614	23,015	28,040	16,597	41,346	301,506
月別残額		-16037	14334	1965	19086	-16814	-5982	6755	32666	-19115	-22940	5803	-22746	-23705
収 支 差 計		-16037	-1703	282	18348	1534	-4448	2307	34993	15878	-6762	-959	-23705	-23705

13. 指定管理経費決算報告
令和7年度 指定管理経費収支報告書

はばたきエコパーク・マネジメント共同事業体

提出者の名称及び職氏名

所長 XXXXXXXXXX

区 分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
収入	指定管理料	4,200,000	4,200,000	4,200,000	4,200,000	4,200,000	4,200,000	3,800,000	3,800,000	3,300,000	3,300,000	3,250,000	3,491,000	46,141,000
	指定管理者企画事業	22,300	45,500	15,200	42,600	29,900	6,900	27,800	37,300	3,900	5,400	22,400	1,600	260,800
	受け取り利息	0	0	0	0	4,886	0	0	0	0	0	6,115	0	11,001
	収 入 計①	4,222,300	4,245,500	4,215,200	4,242,600	4,234,786	4,206,900	3,827,800	3,837,300	3,303,900	3,305,400	3,278,515	3,492,600	46,412,801
支出	人件費	1,410,000	1,410,000	1,410,000	1,410,000	1,410,000	1,410,000	1,410,000	1,410,000	1,410,000	1,410,000	1,410,000	1,030,000	16,540,000
	印刷消耗品	263,457	193,309	17,302	160,733	19,900	53,184	117,052	73,223	85,033	24,406	440	41,851	1,049,890
	通信費	16,234	16,649	16,143	5,390	16,193	27,074	20,849	21,578	22,145	21,711	16,273	27,065	227,304
	保険料	0	162,880	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	162,880
	賞金（短期アルバイト）	396,529	413,860	428,773	434,256	447,696	461,105	505,578	526,348	429,274	370,840	361,334	493,420	5,269,013
	福利厚生	5,618	16,510	3,551	3,070	24,340	12,632	7,172	2,012	0	0	0	0	74,905
	広告宣伝費、ホームページ	90,035	80,280	88,655	80,280	112,102	52,260	56,045	46,290	46,290	86,179	185,379	86,179	1,009,974
	旅費交通費	900	400	4,580	2,090	630	590	3,830	2,160	2,560	1,730	3,820	1,890	25,180
	調査費	0	0	68,836	49,794	131,553	0	0	0	0	0	0	0	250,183
	事務用品	73,218	18,160	18,615	18,092	33,106	16,811	17,932	27,706	34,286	17,645	24,474	21,368	321,413
	経理事務、支払手数料	31,958	32,475	32,695	33,135	31,925	33,025	33,685	33,080	32,915	33,465	32,805	33,168	394,331
	車両費	28,160	43,647	34,074	32,011	36,131	32,599	32,778	35,619	49,167	40,318	35,334	46,386	446,224
	租税公課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	リース料	62,260	62,260	62,260	62,260	191,360	11,360	191,360	191,360	113,260	113,260	113,260	191,360	1,365,620
	刈り草処分費	560	1,820	3,220	560	12,880	92,680	5,740	25,060	12,600	280	0	1,260	156,660
	雑費	13,000	0	41,620	0	2,010	1,550	0	960	7,287	21,000	0	1,320	88,747
	法定福利費	20,226	19,756	20,332	19,851	19,961	26,287	26,122	26,402	26,001	25,714	26,001	25,962	282,615
	再委託費（外注費）	542,300	531,630	482,900	1,069,700	789,137	1,025,409	784,750	863,780	663,765	485,100	1,084,325	520,520	8,843,316
	自社管理費	443,007	695,013	389,006	479,008	632,008	830,010	362,006	776,014	1,343,021	761,975	481,506	360,008	7,552,582
	修繕費	0	54,000	86,900	0	0	0	2,244	22,000	0	0	0	0	165,144
	光熱水費	62,184	76,011	71,068	68,122	89,460	232,633	77,683	80,418	89,300	118,568	75,138	73,026	1,113,611
	一般管理費	55,000	55,000	55,000	55,000	55,000	55,000	55,000	55,000	55,000	55,000	55,000	55,000	660,000
	支 出 小 計 ②	3,514,646	3,883,660	3,335,530	3,083,352	4,055,392	4,374,209	3,709,826	4,219,010	4,421,904	3,587,191	3,905,089	3,009,783	45,999,592
	指定管理者企画事業	38,337	31,166	13,235	24,514	46,717	12,882	21,045	4,614	23,012	28,040	16,597	41,346	301,505
	支 出 合 計 ③	3,552,983	3,914,826	3,348,765	4,007,866	4,102,109	4,387,091	3,730,871	4,223,624	4,444,916	3,615,231	3,921,686	3,051,129	92,300,689
月別残額		669,317	330,674	866,435	234,734	132,677	-180,191	96,929	-386,324	-1,141,016	-309,831	-643,171	441,471	111,704
収 支 残 累 計		669,317	999,991	1,866,426	2,101,160	2,233,837	2,053,646	2,150,575	1,764,251	623,235	313,404	-320,767	111,704	111,704

（様式第 号）

アイランドシティはばたき公園 指定管理者実施報告（提案部分の達成度）

管理運営のテーマ

開発された都市に、渡り鳥が立ち寄り『さとの自然』を創出・保全し
～耳を澄まし、目を凝らし 生きものと対話する心を育む～

■ 利用者サービスの向上策

①サービス向上計画

・高齢者、障がい者、乳幼児などの社会弱者や、その他ニーズに応じたサービス向上の取り組み

結果 ○：達成、△：一部達成、×：未達成

項目	実施手法	成果指標	結果	備 考
①-1 利用者に合わせた自然学習・観察・共働プログラムの提供	◎みんなで関わる自然観察4つの体験システム ①「感じる」企画 ②「学ぶ」企画 ③「守る」企画 ④「参加する」企画 全ての市民が「みんなで関わる」ことが出来る様、4つの区分のしくみに応じた利用者プログラムを提供します。	①感じるプログラム：活動指標年6回実施 ②学ぶプログラム：活動指標年2回実施 ③参加するプログラム：活動指標年2回実施 ④守るプログラム：活動指標年1回実施	○	①感じるプログラム ・「バードウォッチング」（もっと鳥が好きになる） ・「バードウォッチング」（初心者） ②学ぶプログラム ・「科学の目」（座学の後屋外で学習） ③参加するプログラム ・「しげん生きもの調査隊」（屋外で自分の体で体験） ④守るプログラム ・「サポーター養成講座」「レンジャープロジェクト」（当公園のボランティア、補助員養成） 以上4つのプログラムを毎回テーマを替えて、毎月第三土日で開催しました。
	◎利用者が訪問者（ビジター）から「サポーター」になれる「育成プログラム」 「学ぶ」「参加する」プログラム参加者でサポーター希望者は、スキルに応じて「バッジ」を獲得し、ステージに合わせた作業ボランティア/サポーターの参加が可能になります。	プログラム体系整備	○	10ポイント以上達成者は9人 5～9ポイント達成者は32人となり、上記の9名は年齢に応じて「ジュニアサポーター」「初級サポーター」として認定式を行います。
①-2 利用者が自然に寄り添う「自然成長を学ぶゾーン」	◎野鳥カメラの設置 ①野鳥カメラ（オンライン24時間遠隔操作可能）の設置 ②生きものカメラ（トレイルカメラ赤外線作動）の設置 ③湿地にモニタリングコンテンツ（調査動画）の情報発信 来園者、マスコミ用教育資料として提供（R6年度は主に情報収集を目的とする）	設置	○	ライブカメラを設置し、ホームページやYouTubeで誰でも観れる様にしました。他湿地帯内にトレイルカメラも設置し調査やデータ収集に役立てています。来園者の園内案内にも役立っています。湿地内には「トレイル」カメラも設置し、生きもの発見に役立てています。今回4Kカメラに変更して、より鮮明な画像を提供することが出来ました。
	エコツーリズム視点で指導 利用者の侵入・オーバーユース（過剰利用）によって環境のバランスが損なわないよう、立ち入り・観察利用については生態系を主役としたエコツーリズム支店で利用制限を設けます。 湿地エリア周辺の観察施設や緑地帯においても、利用については「エコツーリズム」の考え方を推進し、利用ルールを解説した「観察ガイドライン」を作成し啓蒙を行います。 ①利用エリアに適合したルールの作成 ②湿地観察前のガイダンスの実地、ルールの周知 ③利用レベルに対応した観察ガイドラインの作成とガイダンスの実施	ガイドラインの発行。事務所でガイダンスの実施	○	公園の利用ルールを作成し、告知し、違反者には説明を行いました。

項目	実施手法	成果指標	結果	備 考
①-3 利用者が自然に 触れて「感じる」 「自然を楽しむゾ ーン」	◎障がい者利用への支援 障がい者も将来的にサポーターとして活動できるような支援を行います。 ①オフロード車椅子の貸し出し ②観察ポイントにQRコードを掲示して音や映像でも案内 ③障がい者施設指導員向け自然観察教育プログラムの提供 ④障がい者のバッジメンバー向けサービス	週1回のバリアフリー点検障がい者施設指導員向け教育プログラムの提供	×	安全性確保の為、湿地内動線の不陸整備作業の必要性を確認、オフロード車椅子の貸し出しは見送りしました。 障がい者施設との連携が未完の為、プログラムの提供が行えませんでした。 車椅子の無料貸し出し及び園路動線上のバリアフリー点検は実施。 (R7貸出し3回)
	◎はだして遊べる芝生 自然を感じるビシターズステージとして、良く手の入った清潔な芝生を提供します。憩いや癒しに訪れる市民が肌や香りでも自然を感じることが自然への第一歩であることを指定管理の経験で知っています。まずは、芝生の心地よさから自然を「感じて」いただきます。	R7年度より	○	R7年7月より供用開始となりました。 ロボット芝刈り機2台を稼働させ、又干ばつ期には灌水など行い、芝本来の美観など維持に努めました。
	◎芝生から連なるメドウ 湿地の方向へ行くと、様々な草や野に花が咲いた空間で生きものも住み、向こう側には樹林や林、田畑が広がるメドウを創出します。虫も発見、人がいない時は鳥も訪れるかもしれません、ビシターはこのメドウで生きものを感じ、接し方を「学び」ます。	R7年度より	—	周辺の環境などの調整が整わず、延期をしています。
	◎体験湿地（水田など）	R7年度より	—	周辺の環境などの調整が整わず、延期をしています。
	◎鳴き虫、さえずりロード	R7年度より	—	周辺の環境などの調整が整わず、延期をしています。
	◎ホームページ機能の充実 ・新着情報をインテリジェント化し、いきもの情報やイベント、公園からのお知らせ等の区分けを行い、分かり易い情報の提供を行います。 ・季節の生きもの情報を、写真とマップで紹介します。 ・ホームページのレイアウトをPC版とスマホ版の2パターン用意し、スマホ表示により視覚的に分かり易く、来園時でも直感的に操作し易いように配置します。	HP作成 年4回シーズン別 週1回更新	○	イベント情報、ライブカメラ映像放映（ホームページやYouTubeで視聴可） インスタグラムでも随時、情報を提供しています。
	◎生きもの掲示板 園内の観察ポイントに「生きもの掲示板」を設置し、シーズンや生育・発生時期に合わせた情報提供を行います。 ・季節の生きもののプロフィール ・QRコードで生きものの鳴き声や開花の特徴を文字や画像、音声で解説	月次見直し更新	○	バードハイドに「飛来する鳥類」のオリジナル図鑑を季節毎に設置しました。野鳥の鳴き声もQRコード読み取りにより聴くことができるよう同図鑑の機能として表示しています。
①-4 学びの準備室 コーナー	◎オペレーションロビーの開設 観察や学び、イベント参加前にガイダンスを受けたり、事前準備を行うサビトスコープを管理事務所の仮設会議室に設置します。 育成プログラムの場はここでのエントリーを必要とします。 ・観察の支度、エントリーとフィールドマーカーの確認 ・生きものデータベースの利用 ・ワイルド観察（トビカメラ） ・ロッカー（荷物預かり） ・観察装備品の貸し出し ・キャスティングラリー	7月までに開設	○	いきものミニ博物館として管理事務所の一面をフリー開放し、湿地内で見られるいきものの展示を行いました。また自由に閲覧できる各種昆虫図鑑など増刷しました。
	◎赤ちゃんの駅 授乳・更衣室で「赤ちゃんの駅」と「バグーラム機能」のサービスを提供します。授乳中に授乳室からキャスティングラリーが見える「見守りカメラ」を設置します。	7月までに開設	○	認定完了（ベットなど完備）しました。入り口に「認定ステッカー」で表示しています。

②満足度把握・ニーズ把握。苦情処理計画

・利用者の満足度把握・ニーズ把握のための調査への取り組み

項目	実施手法	成果指標	結果	備 考
②-1 利用者アンケート	◎利用者ニーズに対応した満足度調査の実施 調査実施方法は、 ①学生ボランティア等による聞き取り調査、 ②アンケート記入、 ③双対等によるWeb調査を計画しています。 ・園内（芝生広場等）では小さなお子様連れのご家族や高齢者、障がい者の方、来園目的や公園での過ごし方、ご要望に重きをおいた調査を行います。 ・園内での利用者アンケートを実施するか、Web・ホームページからご意見・ご要望の受付を行います。 ・イベント・行事アンケート 開催したイベント・行事の目的の有効性や来園者評価（満足度）を把握する事で客観的な目線での改善点を把握します。 調査はアンケート・聞き取りとともに5段階による満足～不満足度と自由コメントをいただき、集計します。	公園利用者アンケート年100枚の回収結果公開年2回	○	各イベント終了時にアンケートに記入して頂きました。（詳細結果はアンケート欄を参照）
	◎利用者団体アンケートの実施 利用団体会員の中で利用団体種別ごとの要望を記録し、公園に対する要望を集約、検討します。		△	各イベント終了時にアンケートに記入して頂きました。（詳細結果はアンケート欄を参照） 団体用様式による調査は未実施
②-2 インターネット・コミュニケーションボード	◎ホームページを通じて利用者の声、調査結果の公表 ホームページにてアンケート結果の公開を行います。 ・利用者から要望があったことについて対策などの情報を公開します。 ・利用にとって有益な情報を積極的に提供します	月次で情報更新 （情報によっては随時更新）	○	年間のアンケート集計結果をホームページに公開しました。
②-3 関連団体アンケート	◎関連団体アンケート（自治会、教育機関など） アイランドシティの教育機関・自治会、エコーガーデンの関連団体に公園管理事務所への要望や公園への期待についてアンケート調査を実施します。	年1回	○	アイランドシティ広報会議での聞き取り、各公民館、はばたき小、照葉小、照葉北小でニュースレター配布時に情報交換など行いました。
②-4 意見投函箱	◎管理事務所に意見箱を設置	1ヶ月毎回収	○	設置完了しました。利用はまだ少なく、来所時での聞き取りも併用しています。

・苦情などへの適切な取り組み

結果 ○：達成、△：一部達成、×：未達成

項目	実施手法	成果指標	結果	備 考
②-5 苦情対応	◎弊社の「お客様対応基本方針」に則り対応する 利用者や近隣住民からの苦情や要望については、弊社のお客様対応基本方針に則り誠実に対応し、内容をよく吟味し、公園の利用満足度を向上させる点がある情報として大切に取り扱いさせていただきます。	四半期毎に報告書をまとめる	○	R7年度は苦情などは有りませんでした。
②-6 苦情の原因排除の取り組み	◎苦情対応を通じた業務改善によりサービスを向上します お客様からの苦情について真摯に取り組み、その発生原因を掴み、業務改善によって再発を防ぎます。	原則1ヶ月での業務改善	○	R7年度は苦情などは有りませんでした。
②-7 フィードバックと対策	◎「フィードバックボード」及びホームページに苦情・要望の対応の公表 意見投函箱への苦情や要望に対する回答は、仮設事務所の「フィードバックボード」及びホームページにて公表します。	随時及び1ヶ月毎の更新	○	R7年度は苦情などは有りませんでした。

③適正利用の促進と不適正利用の予防・事後対策

・利用者の適正利用に向けた取り組みについて

項目	実施手法	成果指標	結果	備考
③-1 適正利用の促進	◎「自然の成長を学ぶゾーン」 湿地エリアと周辺の観察施設や緑地帯においても、利用については「エコツーリズム」の考え方を推進し、利用（アクティビティ）ルールを作成し啓蒙を行います。 ①湿地観察の事前ガイダンスの実施 ②アクティビティルールの掲示 ③利用者レベルに応じたガイダンスと追加掲示 ◎「自然を楽しむゾーン」園内ルールの啓蒙 利用案内パンフレットに「利用者心得」項目を作成し、公平で安全な利用を呼びかけます。 ・安全な利用のための注意やお願いを記載します。 ・犬の散歩マナーや喫煙ルールなどのお願い ・パンフレットは、仮設事務所まで配布します。 ◎『望ましい利用』呼びかけパンフレット等を作成します。 ・障がい者、高齢者、小さなお子様について、障がい者差別解消法等を推進する「利用者相互の介助や手伝いへの配慮」のお願いを記載します。	アクティビティルールの策定（パンフレットない3編構成）	○	湿地帯、バードハイド、駐車場など園内の利用ルールを策定し、園内掲示板、パンフレット内、ホームページでも告知しました。尚、芝生広場供用開始に伴い、犬の「ノーリード」への看板を設置し、マナー向上に努めました。
③-2 不適正利用の予防	◎地域と連携してマナーアップ運動を展開すると同時に日常的に園内巡回を行い、積極的な利用への声掛けにより不適正利用の防止を行います。 ・校区の子ども会育成連合会との連携した夏休み等見守りパトロールの指導（予定） ・利用者同士のマナーアップ運動と連携した予防活動禁止事項案内の実施	校区の子ども会育成連合会への報告を年2回	△	日常的な巡回による利用者への声掛けを実践し、予防活動を推進しました。子ども会育成連合会との連携が未完。
③-3 不適正利用者への対応	◎不適正利用者には他利用者へ迷惑にならない様行為を中止する対応取る ・自治会や近隣の小中学校と情報連携を頭密に取ります、 ・警察と連携した対応を行います。	2人以上のスタッフでの対応 指導結果の注意（報告書への記載）	○	犬のノーリードでの利用者へ注意喚起を行いました。又、長期間駐車車両に関しては、市役所と連携して対応しました。
③-4適正利用の誘導と不適正利用の予防	◎利用のルールやマナーアップといった内容で掲示や印刷物の配布を行い、適正利用と不適正利用のガイドラインを示す	四半期毎に報告会を実施	○	湿地帯入口には立入禁止の掲示を行う等、適正利用への予防対策を実施しました。また、毎月の職員研修内で報告を行い、職員全員で情報を共有しました。

■公園施設の適切・効果的な維持管理

⑤施設維持管理計画

・施設の内容に適した維持管理計画について

項目	実施手法	成果指標	結果	備 考
⑤-1 建物・施設	◎2重点検による見落としがちなリスクの発見 ・スタッフが施設の日常巡回点検を行うことで危険箇所の早期発見に努め、施設を安全で快適に保ちます	日常巡回2回/1日	○	園内、屋外トイレの点検も実施しました。一部のアスファルトに悪戯書き、花火の使用跡などが確認され、対処しました。
	◎アセットマネジメント（修繕履歴の作成と活用） ・日々巡回で見発見された不具合・故障箇所は必ず報告し、修繕補修調書に記録します。 ・公園内の同様の不具合や故障がないか確認し事前に故障や事故を予防します。 ・公演の施設、設備のメンテナンスカルテとして作成し修繕補修調書を活かした長寿命化を図ります	修繕補修調書の作成	○	バードハートの「のぞき窓」屋外トイレの「個室扉」の不具合ありましたが、施設がまだ新しい為、大きな修繕などはありませんでした。
⑤-2 機械・設備	◎施設稼働に合わせたメンテナンス計画 ・公園の稼働状況を把握して施設利用が増加する時期の前に各設備のメンテナンスを実施し、安定した管理を行います。 ・常にPDCAサイクルに沿った管理を行う事で、施設管理レベルを向上します。	年間計画に準じ実施	○	屋外トイレの美化、正常作動を維持するため、専門の業者に清掃など不具合の早期発見に努めました。問題などは有りませんでした。
⑤-3 植栽等	◎芝生広場のロボット芝刈り機の導入による芝生強化作戦 マット化の促進 一般的に芝生のマット化はデメリット（耐乾性、排水性の低下等）が多く抑制されるものとされています。しかし弊社ではマット化した芝生は割れにくく、踏圧による擦り切れへの抵抗性は高まるというメリットに着目しました。適度なマット形成は芝生広場の様に常時多数の利用者によって踏圧を受け続ける芝生にとっては、裸地が防止に有効な特性になります。	年間計画に準じ実施	○	R7年7月より芝生広場が供用開始となり、ロボット芝刈り機2台を稼働させました。現状踏圧による裸地などは見当たりません。
	◎光と広がりを感じられる美しい樹林 野鳥から人間の社会が目隠しとなる樹林は、湿地で休息する野鳥からの視点を意識した管理を行います。利用者視点で散策路に木漏れ日の光の広がりをとる場合には、園内の葎を活用したバードハイドを制作設置するなど野鳥の活動領域が狭まらないよう対策をします。		○	散策路沿いの樹木については樹木医による樹勢調査を行い、美しい樹林への基礎資料作りを行いました。湿地帯の野鳥ファーストの視点で管理を行い、園内の葎を活用した調査用バードハイドもボランティアの皆さんと作成しました。
	◎樹高を抑える低木更新剪定の実施 利用者エリアには花木低木が帯状に植栽されていますが、時を追うごとに樹高が高くなり、低木の奥に広がる樹林の眺めを阻害します。花の時期でこそ綺麗ですが、樹林地としての奥行きがなくなり、樹木本来の美しさである根元～幹～樹冠につながる全体のフォルムの力強さが隠れてしまいます。花芽分化後適期に思い切った更新剪定を行い、花付きを意識しながら低木から高木へ繋がる見通しの良い緑地を創生します。	樹木医による年1回の診断	○	10月に2名の樹木医で調査を行いました。樹勢をa～cの4段階で評価し、各樹木に対する今後の対処を記載した調査票を作成しています。

項目	実施手法	成果指標	結果	備 考
⑤-3 植栽等	◎季節の野草が美しい草地（メドウ）の誕生 築山、芝生広場との湿地など利用者の緩衝緑地として、刈込の高さと時期を変えることによって美しい野草が楽しめる草原に移行させる取り組みを行います。		△	周辺の環境などの調整が整わず、延期をしています。
	◎IPM（病中総合防除）による管理 防草、防除については生物多様性の観点から環境負荷を低減した技術を用います。公園利用や従来生態系に影響を及ぼす高まるケースでは①物理的/耕種的、②生物的、③化学的防除の優先順位から検討します。化学的防除については必要最小限の除草剤の有効性の高い散布により、芝生地及び草地をコントロールします。薬剤散布にあたっては、環境負荷の低い有機JAS資材を優先し、環境評価と飛散防止を徹底します。利用の安全性が確保できるまでは、立ち入りを禁止します。防草、防除については、生物多様性の観点から環境負荷を低減した技術を用います。	モニタリングによるデータターの収集/アドバイザー会議での報告・助言による防除、防草計画の見直し	○	湿地帯の除草について、物理的防除の手取り、草刈機で行いました。科学的防除にあたる薬剤の使用は行いませんでした。草刈りは騒音による野鳥の影響をおさえるため「電動式」のものを採用して行いました。
	別紙参照（次ページ） ＜湿地の順応的管理＞湿地管理については「湿地順応管理計画」に則り行います。 ◎レベル1包括的目標：「人と自然との共生を象徴する空間づくりを実現する」 ◎レベル2およびレベル3（管理・モニタリング・レビュー） 令和6年度について、個別目標は「表7目標レベル・目標達成基準」をもとにネイチャーガイドが日次巡回でモニタリング、チェックし管理の実施時期や実施方法（ローテーションエリア等）を管理事務所で協議します。目標レベルに急激な変動があれば、管理計画の変更等を市（及びアドバイザー）と協議して実施します。 ＜計画での主な管理項目＞ ①水質環境維持 ②底質環境改善 ③生息環境 ④植生（水域と水面領域） ⑤負荷低減（外来種、外敵、捕食者など） ⑥生物相の変化 ◎レベル3（順応的学習） レベル2～3のモニタリングデータターの集積と順応的実施レビュー結果有効性を検証し、次年度（令和7年度）のベンチマーク（目標レベル、目標達成基準）案を策定し、市とアドバイザー会議で協議します。フィードバック（成果の活用）については「はばたき管理」として管理技術の体系化とサポーター共業に生かします。＜侵略的外来種の防除＞ ◎モニタリング 日次巡回の記録データターと自然観察企画事業で生きものの調査の結果同行を月次集計し、増減変動の大きい生態系や新規出現生態系を検証します。侵略的外来種が確認された場合、発見地点やエリア、侵入経路の仮説と対策立案を行い、繁殖可能性と及ぼす影響を検討し、市に報告します。 ◎物理的防除および耕種的防除 侵略的外来種の繁殖が広がらないよう対象を除去します。外来除草は草刈り時期を開花・受粉・結実しないよう種別選択防除管理（刈り分け）や耕転等による攪乱を行い自然選別を促進します。 ◎生物的防除 侵略的外来種の在来天敵等が存在する場合、在来天敵の調査を行い、繁殖植物（在来）を刈り残し、天敵数の増加を試みて、生態系のバランスを図ります。 ＜侵略的外来種の駆除＞ IPMによる物理的防除が困難で、著しく生態系及び周辺環境に緊急性の高い影響を及ぼす場合には、市（及びアドバイザー会議）と協議し限定的な化学防除方法を検討し実施します。	モニタリングによるデータターの集積/アドバイザー会議での報告・助言による防除防草計画の見直し	×	湿地内の管理は不十分でした。11月、12月にアドバイザーの指導を受け、形だけでも、初期の湿地の状態にする事が出来ました。今後は、アドバイザーの指導を受けながら、あるべき姿を維持して参ります。

項目	実施手法	成果指標	結果	備 考
⑤-4 清掃・ゴミ搬出	◎ロボット芝刈り機導入による芝生刈りくずの削減自動芝刈り機導入による雑草作業無しの刈りっ放しで年間対象エリアでは100%程度の残滓処分費が削減できます。 ◎園内残滓の堆肥化「はばたきコンポスト」 園内残滓はコンポスト（堆肥）化により園内景観に循環します。分解発酵については園内土壌の在来菌や土壌生物を用いることを計画し、開園2か年は園内の湿地汚泥や園内土壌、ミミズやワラジムシなどの土壌生物を観察教室でも調査し、「はばたきコンポスト」化技術を体系化します。	令和7年度以降	○	ロボット芝刈り機2台を使用し、芝の管理は出来ました。 コンポストについては旧コンポスト跡近くに、さらに容量を増した規模にてボランティアの皆さんと設置しました。
⑤-5 衛生管理	◎自然観察、イベント時のファーストエイド・自然環境には様々な菌が存在します。小さなケガや転倒事故でも菌が体内に侵入しないようファーストエイド（早期応急処置）が出来る様衛生的な水や救急キットを準備します。	救急キット5セットを常備 健康チェックの推進と感染予防のポスターの作成	○	救急キット5セットの配置は完了しました。
	◎観察イベント、ボランティア作業前の体調管理 ・飲食のみならず口から食中毒菌やウィルスが入る可能性もあり、体力の低下や体調不良時はイベント参加は控えて頂きます。 ・イベント終了時には公園の衛生的な水（飲適水）で手洗い、汚れの洗い流し、傷等の確認を必須とします。 ・各出入口口に「消毒剤」（アルコールもしくは次亜塩素酸ナトリウム等）を設置することで、病原菌やウィルスの感染症予防に努めます。		○	サポーター養成講座の中で、虫刺され、捻挫、骨折時の応急処置、また危険な昆虫・植物の学習も行いました。
	◎衛生施設（トイレ、手洗い場）の完成予防 ・清掃時に衛生施設の利用者が手を触れる取っ手やノブなどを中心にアルコール（もしくは次亜塩素酸ナトリウム等）除菌を定期的の実施します。 ・施設内の洋式便座の排便後は便座のふたを開けて洗浄水を流していただき、菌やウィルスの拡散を防止します。		○	事務所内に「手洗い用消毒液」を常設しました。
	◎鳥インフルエンザ対策 ・野鳥の死骸等については、触らずに管理事務所へ報告頂くよう園内周知し、福岡県の対応手順に則った対応マニュアルにそって回収し、筑紫保健福祉環境局事務所 地域環境課に連絡、市との協議の上で対応・処分を行います。		○	該当事例は有りませんでした。

⑥リスク管理計画

・安全管理計画・緊急対応（災害・事故等）計画・保安警備計画

項目	実施手法	成果指標	結果	備 考
⑥-1 総合的なリスクマネジメント体制	◎私たちは指定管理業務が通常の「維持管理」とは異なり利用者サービスを伴う「接客業」とであるという観点から、工事故等の原因ハザードのみならず、予想できないイレギュラーな出来事を想定した会議を年4回程度実施します。会議にはISOの専門家を加えて、国際基準に準じたハザード分析、リスク評価をおこなっています。以下の様な実績があります。 ・利用者事故の防止のチェックリストの作成（木製遊具、老朽化施設設備アセスメント） ・地域防災と連携した大規模災害訓練（DIGの実施）・インフルエンザや食中毒、未知の感染症に対する基礎知識と管理業務のポイント ・事業継続プラン（BCP）の作成	年4回のリスク分析会議の実施	○	大きな事件・事故などは発生しませんでした。職員研修内で、園内の危険箇所、利用者の利用状態など実例を挙げて情報を共有しました。
⑥-2 施設の安全管理	◎利用者に危害を加える害虫害獣対策 園内に侵入する有害獣、有害虫をハザードマップにより管理し、発生には適切に対処できるように訓練を行います。 ・ハチ類（オオスズメバチ、キイロスズメバチ、ツマアカスズメバチ） ハチ類の中でもこれらのスズメバチは被害が甚大で、時には人命にかかわるようなアナフィラキシーショックを被る事さえあります。特に、危険度が高まる夏から秋にかけての繁殖期には園内各所にトラップを設置し、状況に応じてインフォメーションを強化するとともに、立ち入り禁止措置や場所に応じては巣の撤去を協議します。 ・マダニ類 マダニは公園内にも生息しています。人やペットに付着し、吸血、炎症を起こすことはもちろん、感染症を媒介することで死に至ることも報告されています。公園内で特に注意すべき場所は、雑草が繁茂し藪化しているところ、野生動物や散歩中の犬などが立ち寄りやすい茂みなどです。弊社では厚生労働省等が発表している注意喚起資料を利用して来園者に情報提供を行い注意を促します。 ◎危険な外来昆虫の防除 セアカゴケグモ 園内の各施設に周知のポスターの掲示を行い利用者への啓発を行うとともに、発見に応じて適宜苦情活動を行います。 ◎救マークの認定 「救マーク」施設認定に関して認定要件を満たす様にします。自動対外式除細動器（AED）はステータスインジケータを毎日確認しバッテリー切れ等がないようにします。	実施可能な範囲は 適宜対応	○	・春～秋にかけてはハチ類やセアカゴケグモを確認しました。日々の巡回時の確認に加えて月2回はセアカゴケグモの調査を行い、発見次第駆除を行いました。当公園では、駐車場の機器内部、屋外トイレ周辺、側溝で確認されました。「救マーク」は所長、副所長が「上級救命」の講習を受講し、「救マーク」の認定を受けました。 ・AEDは専門業者を招いて、有事の際に使えるよう、講習を行いました。
	◎日常巡回 毎日3回（昼間2回）、夜間1回（警備会社）の職員による巡回を行います。利用者への挨拶、不正利用者への声掛けなど積極的に行います。 ◎イベント時での保安 多数参加の見込めるイベントではJV各社から応援人員を派遣し、駐車場整理、園内の保安に努めます。 ◎警備会社との連携 警備会社による夜間1回の巡回に併せて機械警備を行います。有事の際には直ちに現場に駆け付ける体制を取ります。			
⑥-3 施設の保安管理	◎駐車場 24時間の有料駐車場となります。夜間の不審者の湿地帯進入を防ぐため、湿地エリアへの立ち入り等については利用時間による制限を設けます。 ◎防犯マニュアルの作成 ・防犯対応全般を記したマニュアルを作製します。 ・そのマニュアルを基に職員研修で職員一同が共通認識をもって対応します。	毎日3回（昼間2回、夜間1回）	○	・左記の通り、実施しました。緊急事態などの発生は有りませんでした。 ・長期駐車車両（1台）があります。持ち主と連絡は取れており、退出時期など検討いただいています。

項目	実施手法	成果指標	結果	備 考
⑥-4 個人情報計画	◎福岡市個人情報保護条例に則った取扱い 原則として、指定管理者業務において取得する個人情報については条例に則り、必要な場合に限り、かつ、その利用の目的を特定して収集するものとします。利用については事前に本人に明示し、承諾を得たうえで、その範囲を超えないようにし、個人の特定が出来ないようにします。 ◎指定管理者企画事業/自主事業 SNSやWebアンケートなど様々なシーンで該当する個人情報について、法令・条例及び個人情報保護委員会のガイドラインに沿った管理を行います。	法令・条例改正時の計画の見直し、コンプライアンス研修での全スタッフへの定期的な周知	○	個人情報保護に関しては、法令、条例に則って管理しました。イベントなどの名簿、職員の名簿などは施錠できる引き出しで保管をしています。
⑥-5 緊急対応	◎人身事故発生時対応 事故発生のお知らせを受け、直ちに現場に急行し、負傷者の保護・救護ならびに応急手当、病院への搬送・救急車の要請など、適切な措置をとります。また負傷者の家族、保護者への連絡を必要に応じて適切に誠意をもって行います。	通報を受けて5分以内に現場急行	○	該当事例は発生しませんでした。
	◎自然災害発生時対応 はばたき公園は校区の「避難場所」に指定されており、災害時には救援活動の拠点として機能するなど、区の防災計画に重要な役割があることを認識しております。風水害や火災および震災に関して利用者の安全を考え、緊急時に的確な対応が出来るよう緊急時に備えます。	発生後即時指示系統のに移行	○	台風などの発生は有りましたが、避難指示などの発令は無く、又、被害なども有りませんでした。

■公園の特色を活かす事業展開

⑦公園の特色を活かす取り組み（集客向上策・広報計画）

・公園施設の集客向上策、広報計画等

項目	実施手法	目標人数/年	結果	備 考
TVやラジオを通じた生きものの情報の発信	◎テレビ局へのリアル情報発信 テレビ局や制作会社に公園内の生きものの情報（公園モニターカメラ映像）を提供し、地方局の短い季節ネタを通じた公園広報情報を発信します。	NHK、福岡放送局及び制作会社に提供	○	ネイチャーガイドがTNC放送の「記者のチカラ」に出演、公園の魅力発信を行った他、ラジオ（FM福岡）での当公園のPR、イベント情報発信は3回実施しました。
はばたき公園広報誌の刊行	◎定期刊行誌の発刊 公園愛の野鳥や生きものの情報をまとめた刊行誌を発行します。 ・季刊発行誌 ・年次発行誌	季刊は年4回 年次は年1回	○	季刊誌は「ニュースレター」として年6回発行し、近隣の3つの小学校にも配布しました。又、年次発行誌は年度末に「活動報告書」として「サポーター養成講座」の中で参加者の方に報告しました。
リアルタイム情報提供（Web、HP）	◎SNSを使用した公園の情報提供 「はばたきだより」として園内での出来事やイベント情報等、旬な話題をSNS（フェイスブック等）を通じて提供します。 写真やマップで見どころの場所や時期を紹介し、利用者のSNS投稿の促進につなげる事で公園の紹介と同時に来園の促進につなげます。	一週間毎の更新	○	インスタグラムを利用して野鳥の飛来状況、樹木の開花情報、イベント開催情報など一週間以内に更新を行い、発信しました。
	◎公式アカウント登録による情報提供 SNS公式アカウントの開設による公園情報会員メンバーへのメッセージ送信を行います。		○	同上
	◎仮設事務所にデジタルサイネージを設置します。 デジタルサイネージは仮設事務所から情報コンテンツ配信を行うことでリアルタイムな情報更新が行えます。 以下の公園利用に関する情報を表示し、来園される皆様へ、より新鮮な情報提供を行います。 ・野鳥、その他生きものの生息情報 ・開催予定のイベント情報 ・四季折々の植栽情報 ・利用における各種注意喚起情報等		○	デジタルサイネージより多機能であり、環境学習等にも活用できる電子黒板を用い、園内の各情報、野鳥の飛来情報をリアルタイムで紹介しています。他、ホワイトボードにて確認された野鳥の情報、イベント情報などを掲示し、来園者への情報提供を行っています。尚、より鮮明な映像を確保するため、「4K」カメラを稼働させています。
市政だよりを通じた広報	◎各種イベントに関しては、市政だよりにて募集記事の掲載を行います。 あらゆる世代に広く読まれている市政だよりに掲載を依頼する事で、より多くの方へ募集の案内をお届けできると考えます。	年5回の掲載	○	毎月（年12回）イベント情報を掲載していただきました。
公園広告用オリジナルグッズ	◎グッズの有償提供 自然と生きものに関連するモノづくり教室の完成品を、公園名を記載したグッズとして希望者に有償提供します。	ものづくり教室で制作数種類提供	○	野鳥をデザインした「トートバッグ」（5種類）、バードコール（使用注意文章入り）、ピンバッチを希望者に有償提供しています。
	◎公園名入り花の種配布 利用者アンケートへのご協力をいただいた方や各種イベントに参加された方を対象として公園広告（HPアドレス等）記載した花の種を配布します。	年間100袋の配布	○	各イベントの際、希望者に配布しました。（ひまわり、ヘリクリサム、百日草の3種類を用意しました。）

⑧魅力的な指定管理者企画事業

・公園施設の集客向上策

項目	実施手法	時期	回数	備 考
生きもの観察 ビギナーコース	①生きもの探しウォーキングマイレージ 希少性の高い生きものを探すと高いポイントが獲得できる企画です。ウォーキング中に観察データ収集に協力することになります。	毎月	随時	実施しました。 「福岡市×パイオーム」を活用して行いました。各イベント内で紹介をし、参加者からの観察データなどの情報提供を期待します。
	②生きものの声を聴く 利用者と集音器を使って虫や鳥の声を観察します。	5・10月	年2回	実施しました。 サポーター養成講座の参加者から機材をお借りして水生昆虫の出す音を参加者と一緒に体験しました。
	③土のお掃除屋さんを探せ 土づくりに欠かせないミミズ、ダンゴムシなどの土壌生物を探し、その役割を学びます。コンプストの体験教室と連携します。	10月	年1回	夏休みイベント時にダンゴムシ、ワラジムシに着目して分解者の役割について学んでいきました。
	④セカンドライフの生きもの観察 定年などで人生の転機を迎えて、セカンドライフを自然とともに送ろうと考える方のためのボランティア育成プログラム	10月	3講座毎に各1回	実施しました。 今回は、専門の講師を招いて「草花〜散歩写真撮影」を行いました。
	⑤押し花定規をつくろう 季節の花を観察し、お気に入りの花で押し花定規を作成します。	4月	年1回	「はばたき公園フェスタ」「アイランドシティフェスティバル」「はばたき公民館落成イベント」時に実施しました。押し花は園内に自生する植物を使用しました。
	⑥蟬取り セミを捕まえ、抜け殻を集めてどんなセミが生息しているかを観測します、	7、8月	随時	当公園は未だセミの侵入が確認されなかったため、周辺の防風林や街路樹を探して蟬取りを行いました。
	⑦障がい者向けの自然観察教室 1) 生きものの声や音を聞く 2) 生きもの語り口座 3) 鳴き声口座	5月	R7年より年1回	R7年度は開催できませんでした。
生きもの観察会 ボランティア 育成コース	◎プロ指導「はばたきバードウォッチング」 野生生物アナリストによるバードウォッチング指導を行います。野鳥に関するあらゆる情報について知識を習得していただきます。 1) 入門コース 2) 初級コース 3) 中級コース	毎月（7、8月を除く）	年10回	実施しました。 「入門」と「初級」はまとめて行い、中級は「もっと鳥が好きになる」とネーミングを変えて行いました。
	◎湿地帯クルーズ インストラクターと一緒に湿地帯を歩きながら湿地の生きものの観察と管理を体験していただきます。	奇数月	年6回	実施しました。 野鳥に配慮しながら、湿地内の生物をスタッフと一緒に解説を交えながら観察し、理解を深めました。
	◎自然調査員体験 一般利用者にモニタリングキットを渡し、それらデータを蓄積し、大学研究室などの提供をする	通年	随時	実施しました。 西日本短期大学、ECO海洋動物専門学校、北九州市ほたる館の学生と一緒に、園内の水生昆虫など生物調査を行い、情報交換を行いました。
	◎コンポストによる廃棄物の循環 園内残滓をコンポスト化して、エリアの在来菌や微生物を学びながら循環型の環境保全を学びます。	12月	年1回	実施しました。 従来のコンポストは工事の関係で撤去となったため、新たに「ボランティア」の皆さんと作成し、刈り草などを入れて、期待する効果など学習しました。
	◎夜の昆虫観察キャンプ ライトアップで光に集まる昆虫の観察会を行います。	7、8月	年2回	実施しました。夜のイベントは人気があり、毎回多くの参加者で賑わいます。又、「生きもの名前が付く星座」の観望会も行いました。

項目	実施手法	成果指標	回数	備 考
観察キットの貸し出し・販売	観察キットの貸し出しを行います。 ・虫キット（網、虫見板、シャーシ、顕微鏡、画パン） ・鳥キット（双眼鏡、カウンター、收音器、ハンドブック）	通年	随時	実施しました。 双眼鏡、虫網、魚網、顕微鏡、貸出を行っています。
はばたき公園出張授業	近隣の学校へ当公園で行う自然教室を通常事業（生活科・理科・総合的学習の時間）を開催します。 出張授業は、学習指導要領に則ったプログラムを基本的に はばたき公園プログラムも可能です。	通年	-	実施しました。 香椎東小学校に出向き、子供たちに環境学習を行いました。
高校・大学向けのプログラム提供	高校の授業や大学のゼミ、クラブやサークル向けのプログラムを提供します。 ・ビオトープ管理士試験を想定した管理実習講座 ・モニタリングや管理作業体験インターシップ ・研究データの提供や公園内での収集支援	通年	-	実施しました。 西日本短期大学の学生、当公園職員向けに「ビオトープ」管理試験に向けた勉強会を行いました。
学びの教育・展示（移動博物館も可能）	生きものの展示にミニ講座開設を添えたミュージアムを開設します。担い手を育てる、講座を通してマニアックな人を育てる、講座を通して現場で生きものを見ることが出来る人を育てる、講座を通してファンを育てる、周辺の教育機関と連携 ミニ博物館（展示例） ○芽吹き草の草花 ○夏の昆虫 ○種子や木の実（むかし在来） ○冬の渡り鳥（足跡教室）	通年	-	実施しました。園内の水生昆虫等の生体や果など、自然資料を収集して来園者に園内の生物について学びや発見のある展示を随時追加しています。 まだ展示物の種類は少ないですが、今後、展示方法、展示物を充実させていきます。
「科学の目」養成講座	湿地にいる生きもの「ヒバリ」「ヨシキリ」「イトトンボ」「ゲンゴロウ」など特定の生きものを題材に生態や生活史を分かり易く解説し、実験・体験を交えることでその生きものを深掘りして頂き、理解を深めていただきます。	毎月	年12回	実施しました。 毎回「テーマ」を替えて、主に事務所内での学習後、実際の生物を見て観察し、理解を深める講座を行いました。
「はばたきレンジャー」プロジェクト	「生きもの」に優しい公園・場所づくりを参加者とともに目指すことを目的として「レンジャープロジェクト」を立ち上げます。レンジャーは外来種駆除、池の泥上げ、草刈、いきもの調査などを担当していただき、各年齢層（ジュニア、ミドル、シニア）に応じたミッションを遂行していきます。	毎月	年12回	月によって対象年齢層を変えて年齢層に応じた調査や管理作業を行っています。
バードハイド作り	園内の葦を利用したバードハートの観察基地の作り方を体験します。	11月	年1回	実施しました。 園内の葦を利用して「調査用」のバードハイドを「ボランティア」の方々と作成しました。
湿地清掃ボランティア	湿地帯の清掃、外来種の駆除、事前に外来種が及ぼす影響について考え学び、参加者で清掃、外来種の除去等を行います。その際、ゲーム感覚で楽しめる様に、工夫を凝らします。	通年	年12回	夏季にイベントとして「ナルトサワギク」「コウキヤガラ」の除草を参加者と実施しました

■運営体制と人材の確保

◎組織体制・シフト体制 その他運営管理計画 管理を遂行するに当たっての体制

※以下の通りです。

役職	担当業務	氏名	雇用形態	備考
所長	公園統括責任者	[Redacted]	常勤	
副所長	施設・運営・コンプライアンス業務		常勤	
ネーチャーガイドマネジャー①	利用者窓口、環境保全、野生生物観察、調査、順応的管理モニタリング		非常勤	
ネーチャーガイド②	利用者窓口、環境保全、野生生物観察、調査、順応的管理モニタリング		非常勤	
ネーチャーガイド③	利用者窓口、環境保全、野生生物観察、調査、順応的管理モニタリング		常勤	
野生動物アナリスト	野生動物湿地環境データ分析、順応的管理モニタリング		非常勤	
マルチスタッフ	園内管理、データ整理、イベント関係		常勤	
マルチスタッフ	園内管理、データ整理、イベント関係		非常勤	
マルチスタッフ	園内管理、データ整理、イベント関係		非常勤	
マルチスタッフ	園内管理、データ整理、イベント関係		非常勤	
マルチスタッフ	園内管理、データ整理、イベント関係		非常勤	

※委託業務（以下の通りです）

業務内容	委託会社	委託内容
夜間警備（警備巡回）（機械警備）	第一警備保障（株）	夜間巡回×1回、夜間は機械警備
有料駐車場保守点検	アマノマネジメントサービス（株）	3回/年
鳥類調査、水生昆虫同定	大宰府フィールドライフリサーチ	鳥類調査、水生昆虫同定作業
水質、底質調査	㈱エンジェック	水質、底質調査 4回/年
植物調査	Dip植物調査	植物調査、糖生図作成 2回/年
昆虫調査	共生科学	水生昆虫調査、同定 4回/年
屋外トイレ清掃（令和7年10月から開始）	ブリッジライフ	屋外トイレの清掃 12回/年

⑩専門的人材の確保及び研修

・配置する予定職員の公園管理に必要な専門性・資格や経験

※以下の通りです

役職	担当業務内容	氏名	能力、資格、実務経験年数
所長	公園管理責任者	[Redacted]	
副所長	公園会計、収納事務責任者、公園経営管理		
ネーチャーガイドマネジャー①	利用者サービス（窓口）自然観察企画運営指導、調査、分析		
ネーチャーガイド②	利用者窓口、環境保全、野生生物観察、調査、順応的管理モニタリング		
ネーチャーガイド③	利用者窓口、環境保全、野生生物観察、調査、順応的管理モニタリング		
野生動物アナリスト	野生動物湿地環境データ分析、順応的管理モニタリング		

・職員の育成に必要な研修

項目	実施手法	成果指標	備考
接客研修	挨拶・態度・お辞儀・身だしなみなど基本的なことから好感を与える話し方、聞き方クレーン対応方法を学びます。	年1回	管理者による実演を参考に都度、実習形式にて研修を実施しました。youtubeの視聴を交える等でスキルアップを図っています。
コンプライアンス研修	福岡市市民局作成の「不当要求防止対策マニュアル」を用いた反社会勢力への対応研修を実施します。	年1回	実施しました。「公園の平等利用」「障がい者差別」「パワーハラスメント」をテーマとして研修をしました。
収納事務講習会	収納金取扱対象者に対する収納事務講習会を実施します。「福岡市歳入の徴収又は収納事務の委託の手引き」を元に会計事務全般の講習会を実施し、正確な公金管理を実施します。	年1回	実施しました。「不正防止対策」「事務処理チェック」をテーマとした研修を受講し、関係職員向けにフィードバックしました。
病気やけがの知識と応急処置と感染症対策講習	熱中症、捻挫、骨折、打ち身などの応急処置方法とAEDの正しい取扱い及び新型コロナ対策を含め感染症全般に関するスタッフの知識取得や利用者への注意喚起を行う事項等の共有を図り安全な運営に役立てます。	年1回	実施しました。「サポーター養成講座」の中で一般参加者と学びました。
障がい者サポート	所長、副所長が障がい者施設でのサポート実習を行い、他スタッフに実習体験で得たものを研修します。	年1回	実施しました。車いすを用いて実際に園内を巡り、スロープを体験する等の実習形式にて行いました。
救急救命講習	管理事務所職員は福岡市消防局の行う上級救命講習を、公園内作業責任者は普通救命講習Ⅱの受講を受けることにします。	年1回	実施しました。「救マーク」の認定を受けました。簡易的な機器を用いた肋骨圧迫実習を行いました。
労働安全衛生講習	所長、副所長は福岡産業保健推進センターの労働衛生管理研修会を受講します。各維持管理責任者は職長・安全衛生責任者教育を受講します。	年1回	実施しました。メンタルヘルスについて副所長が「研修会」に参加し、一般職員向けにフィードバックしました。
維持管理業務研修	委託会社の清掃業務指導員によって、利用者視点での清掃における清潔の基準を学ぶ研修を実施します。	年1回	実施しました。専門員による指導受講経験のある副所長より職員向けに実習を行いました。
人権学習	あらゆる人が平等に利用できる公園を目指し、さらに職員全員が偏見を持たない人材を育成します。	年1回	実施しました。副所長、職員1名が講習会に参加し、職員にフィードバックを行いました。
環境への配慮	公園活動の中で我々ができるエコ活動を学びます	年1回	実施しました。「サポーター養成講座」の中で一般参加者と方と学びました。
〈湿地〉野生生物技術研修講習会	園内の対象となる湿地及び野生生物についての知識と管理技術を身に着けます。	年1回	実施しました。当公園の「ネイチャーガイドマナー」を講師として職員で学びました。
はばたき公園の現状と未来	当グループの専門家により順応的管理の現状とフィードバック検証の状況を学習します。現状と未来についての方向性仮説について勉強会を開催します。自主作成の資料による研修として各種データを元に現状の把握と、あるべき未来への課題を検討していきます。	年1回	実施しました。当公園の「ネイチャーガイドマナー」を講師として、集めたデータを確認しながら行いました。

①地域との連携

・公園の管理運営における地域との連携について 具体的な取り組みと実施手法

項目	取り組みの対象	実施手法	成果の目標または指標	結果
住民とのリスクコミュニケーション	公園隣接区域の住民	近隣住民の生活エリアへの「生きもの」の侵入は理解の程度の差は有れ「不快」「有害」の影響を与えます。リスクコミュニケーションにより、住民の生活環境における不快や問題発生を低減や解決リスクに取り組みます。 ①生きもの情報・環境情報の発信 ②住民からの情報収集 ③有識者や研究者と連携した問題解決対策の立案と計画 ④定期的な生活環境モニタリングの実施	年1回（7月予定）所長による住民への調査を実施 ①住民にとっての危害要因の分析とリスク評価 ②住民からの苦情や要望の分析 ③住民への情報発信 ④住民とのコミュニケーション記録の作成を行う。尚、自治協議会や出張事業案内等の訪問を活用して情報収集を行う。	実施しました。 照葉、照葉北公民館、はばたき公民館に出向き、聞き取りを行いました。
エコパークゾーン	水域利用ルールの遵守及び利用者啓蒙活動	エコパークゾーン関連団体との連携（海と隣接エリアとの関係ができた時点から）	海と隣接エリアとの関係ができた時点から	—
	照葉校区自治協議会 照葉北校区自治協議会	各校区区長を訪問し、コミュニケーションを図る。必要に応じて総会に出席し地域住民からの苦情・要望を伺う。	所長による自治協議会へ訪問	実施しました。 アイランドシティ広報会議の際、各公民館館長や出席事業の方々からヒアリングなど行いました。
	照葉小 照葉北小 はばたき小 照葉中	自然学習の場の提供（出張授業等）、講師派遣、環境わくわく出前授業やエコアドバイザーなどの制度を利用して生活や理科、社会、総合的学習の時間など、既存の授業の中で学習指導要領に沿ったより深い自然・生きものこと（はばたき公園の目指すこと）に触れる授業を行います。継続性が見込まれる場合には、事業内で予算を確保し、回数を増やして授業を行う事も検討します。	ネイチャーガイドによる学校訪問	実施しました。 はばたき小2年生（120人）、西園田小3年生（100人）照葉北小（120人）の環境学習を行いました。
はばたきカフェの開催	UDCICとの連携	UDCICの活動に協力して公・民・学連携のまちづくりに「はばたき公園」を中心とした環境保全野生生物保護の観点から取り組みに参加します	UDCICの活動に協力	実施しました。 今回はUDCIC主催の「スタンブラリー」、「IC文化祭」に参加させて頂きました。
高等教育機関連携	西日本短期大学、他	資格取得のため環境教育への協力やインターシップの受け入れなど	ネイチャーガイドによる学校訪問	実施しました。 当公園の「ネイチャーガイドマネジャー」が「西日本短期大学」に出向き、講義を行い、又、当公園を使って実地授業も行いました。

■施設の管理運営に要する経費

⑬指定管理経費の節減（効率的な配分）

・施設管理に要する経費の削減の具体的な項目、実施手法

項目	実施手法	結果
上下水道	グリーンインフラの観点からは、市との協議のうえで雨水を貯留し（仮設管理事務所の雨どい、バードハイドの屋根からを予定）湛水等に利用し、上水の使用を大幅に削減します。他、衛生管理に影響がない範囲で園内の水飲み場、トイレなど節水の掲示を行い啓蒙します。	未実施
維持管理費（遍地）	湿地エリアは専門職員が順応的管理におけるモニタリング状況により、計画仮説にもとづく作業指示を両社の最適な専門職人や短期雇用職員とともに進めます。外注費を極力抑えることで、経費削減を行うと同時に生態系システムに最適な環境を整えるよう順応的管理計画に基づき進めます。	実施しました。 三浦造園、九州グラウンドの技術者で作業を行いました。又、一般職員も「自然環境」に関心した学生を採用しており、基本的な知識を有しています。
人件費	管理事務所はマルチスタッフとして、窓口業務、管理事務、企画事業運営、園内作業とすべての業務を行い、各社直営スタッフと力を合わせて、コンプライアンスを遵守したうえで適正な人員で運営します。	実施しました。 左記の業務は円滑に遂行出来ました。

■社会的貢献とコンプライアンス

⑭社会的貢献

・地域貢献に関する具体的な計画

項目	実施手法	成果指標	結果
小学校での出張事業	近隣小学校での総合学習や環境プログラム向けの出張授業を行います。	年2回	実施しました。 香椎東小は当方から出向き、西日本短期大学、ECO海洋動物専門学校は学生が来所し学習しました。
緑化技術アドバイス	市民や特に地域住民を対象に緑化教室やフラワーデザイン、栽培講習会などの技術アドバイスをします。管理事務所受付けを行い、技術アドバイザーを通じて専門的なアドバイスも行います。	毎月質問回答を取りまとめ掲示板へ	質問はありませんでした。
和臼海岸線の清掃活動	はばたき公園に隣接する海岸線の清掃活動を行います。自治会にもお声掛けします。必要な機械類、用具、運搬車両は当方で持ち込みます。	月2回	実施しました。 毎月2回（1日、15日）に園外での清掃活動を行いました。
はばたき公園周辺道路の清掃活動	はばたき公園に隣接する海岸線の清掃活動を行います。自治会にもお声掛けします。必要な機械類、用具、運搬車両は当方で持ち込みます。	月1回	実施しました。 毎月2回（1日、15日）にボランティアを募り、行いました。

・地域コミュニティの向上のための取り組み

項目	実施手法	成果指標	結果
地域イベントへの協力	地域自治会の要望により、芝生広場、展望広場を子供向けの祭り等として協賛します。野生動物を考慮し、音響を用いるものはしません。	ニーズのヒアリング	実施しました。 今回は、「IC文化祭&秋祭り」、 「UDCICスタンプラリー」に参加をさせていただきました。又、「はばたき公民館落成」に合わせワークショップも行いました。
観賞木の見ごろ案内	植栽計画では、さくら、梅などの観賞木の植栽が計画されています。地域の皆さんに花の見ごろなど案内します。	ホームページで毎日情報公開	実施しました。 ホームページ、Instagramでも情報案内をしました。
地域へ花や花苗の配布	地域花壇の常設と季節ごとの花苗の植え替え及び管理技術補助を行います。定期的に花の種を配布する等、植栽を通じてコミュニケーションを図り、コミュニティを図って行きます。	花苗の植え替え、管理補助	実施しました。 園内の花植えの入れ替え、イベントで花の種の無料配布を行いました。

⑩コンプライアンス等

・プライバシーポリシー・コンプライアンス規定について以下に○印を付けてください

項目		結果
プライバシーポリシー	定めている 定めていない	ホームページへの掲載
コンプライアンス規定	定めている 定めていない	コンプライアンス研修の実施

・障がい者雇用率と今後の雇用計画

障害雇用率	0%
今後の障がい者等の雇用計画	適性を検討して採用したい

・その他関係法令に留意した取り組み

項目	実施手法	成果指標	結果
男女雇用均等法に関するワークライフバランスの取り組み	「い〜な」ふくおか・子ども週間への賛同登録 定時退社を促すとともに「イクメン」を支援 子どもの職場見学を通じて社員の仕事と家族のつながりを知る	毎月月初に経営者が社員にイクメンの声掛け	親会社も「イクメン」に限らず「コンプライアンス」を重視しており、「残業なし」「産休」「育休」など取得しやすい環境づくりを行っています。
暴力団対策活動への協力	「暴排三ない運動」に賛同し、警察や暴追センターと連携し、福岡市暴力団排除条例に基づく「暴力団対策法27の禁止行為」を守り実行します	法令違反「0」	該当事案は有りませんでした。
人に優しく安全で快適な福岡をつくる条例	優しい街づくりに向けた社員啓発を行います。歩きタバコや指定場所以外での喫煙禁止、散乱するゴミの自主的な清掃を行います	毎月月初に経営者が社員に直接声掛け	当公園では月2回の園外での清掃活動、親会社でも毎週水曜日に周辺道路の清掃を行っています。
エコアクション21	「6つの目標」（二酸化炭素の排出量の削減、廃棄物排出量の削減、水使用量の削減（節水）、グリーン製品購入の推進、化学物質の適正管理、事業活動における環境配慮（校庭緑化の技術提供）を」あげて取り組んでいます。	6つの目標を達成	親会社で「エコアクション21」に参加し、会社を挙げて取り組んでいます。

⑪環境への配慮

・環境への配慮の取り組みに関する具体的な計画

項目	実施手法	成果指標	結果
渡り鳥が利用する場	⑥シギ・チドリ類や干潟を利用する希少種の休息場機能の創出 ①湿地のシギ・チドリ類の休息場所を想定した順応的管理による管理 ②シギ・チドリ類に対する脅威の排除 ③湿地（水場）の確保	①5つの湿地の保全（順応的管理の検証） ②人為的攪乱の防止（野鳥カメラ映像の解析） ③「体験湿地」による水場の補完（田んぼダムの雨水活用）	①は「順応的管理計画」の管理としては不十分でした。 ②は人為的介入は最小限に抑え、ライブカメラでの映像を分析して、今後の活動に役立てるため、情報収集を行っています。 ③はR8年度の検討課題です。
環境学習の拠点	⑥エコパークゾーンの取り組みなどを学び体験できる環境学習の拠点 ①ビジターとして気軽に参加できる企画事業の実施 ②サポーターとして環境の取り組みに参加するための学習企画事業	①築山・芝生広場で実施するビギナーコース：7コース11講座 ②湿地エリアで実施するボランティア養成コース：5コース	①は今後の供用開始を確認して行います。小学校の環境学習での訪問時には「エコパークゾーン」の説明など実施しています。 ②は現在「サポーター養成講座」を中心に我々と一緒に学んでいただいています。
様々な活動連携	⑥企業や教育機関、環境保全に取り組むNPOなどとの連携 ①サポーター企業の募集 ②出張授業やインターシップ・フィールドワーク連携 ③企画事業での連携イベント	①企画事業への支援企業（年3件） ②出張授業（2校） ③近隣エリアの干潟等についての移動博物館の実施（2エリア団体）	①は「サポーター企業」を募るため、我々の「事業内容」「データ集積」などを行っています。賛同できる企業を見つけたいと思っています。 ②は香椎東小学校（2年生）に出向き「環境学習」の授業を行いました。 ③は企画事業を通じて、各学校、自治協議会とさらなる連携が出来る様、引き続き模索していきます。

15. 指定管理者企画事業の進捗状況

指定管理者 はばたきエコパーク・マネジメントチーム共同事業体

番号	事業名	内容	実施 時期	回数	令和7年度事業名	詳細
1	生きもの探しウォーキングマイ レージ (生きもの観察会ビギナーズ)	希少性の高い生きものを探すと 高いポイントが獲得できる企画。 ウォーキング中に観察データ収集も協 力することに。	各月	随時	「もっと鳥が好きになる バードウォッチング」 「初心者向けバードウォッ チング」	バイオームを活用し、バードウォッチ ング講座中に登録。バードウォッチング終 了後も自主的に生物登録を行ってもらっ ています。
2	生きものの声を聞く (生きもの観察会ビギナーズ)	利用者と集音器を使って、虫や 鳥の声を観察します。	7、8 月	年2回	7月夏休み特別イベント 「セミを大調査！」 8月「夜のはばたき公園でラ イトトラップをしよう！」	セミ、夜間の鳴く虫を対象に観察しまし た。参加者が持参した集音機を使い、水 生昆虫の発する音も観察出来ました。
3	土の掃除屋さんを探せ (生きもの観察会ビギナーズ)	土づくりに欠かせないミミズ、タ コバ、ムシなどの土壌生物を探索 し、その役割学びます。コバ、タ コの体験教室と連携します。	7月	1回/年	7月夏休み特別イベント 「土の掃除屋さん①アリ」 「土の掃除屋さん②ミミ ズ」	7月にアリ、ミミズを対象に学びました。
4	セカンドライフの生きもの観察 (生きもの観察会ビギナーズ) 1) 生きもの写真教室 2) 草花観察・調査 3) 染めもの講座	定年などの人生の転機を迎えて セカンドライフを自然と共に送ろうと 考える方のためのセカンドライフ育 成プログラム	3月	講座毎	3月【シニア向け】はばたき 公園でセカンドライフト 「草花散歩写真撮影教室」	「草花散歩写真撮影教室」を実施しまし た。散歩をしながら「草花」の写真撮影 のテクニックを学びました
5	押し花定規をつくろう (生きもの観察会ビギナーズ)	季節の花を観察し、お気に入りの 花で押し花定規を作成しま す。	11月	1回/年	11月「IC文化祭」「IC20 周年フェスタ」でのワーク ショップ	左記のイベントで都合2回行いました。
6	蝉取り (生きもの観察会ビギナーズ)	セミを捕まえ、抜け殻を集めて どんなセミが生息しているかを 観測します。	7月	随時	7月夏休み特別イベント 「セミを大調査！」	7月夏休みイベント時に「セミ調査」を実 施しました。アイランドシティに生息す るセミの種類を調べました。
7	プロ指導！はばたきバード ウォッチング (生きもの観察会セカンドライフ育成コ ース)	野生生物アナリストによるバードウォッ チング指導を行います。野鳥に関 するあらゆる情報について知識 を習得していただきます。 1) 入門コース 2) 初級コース 3) 中級コース	毎月 (7,8月 除く)	10回/年	バードウォッチング 「初心者向け」、「もっと 鳥が好きになるバード ウォッチング」	毎月第三土曜に、初めての方向けに丁寧 に指導する初級コースと経験者向けの生 態などに関する知識を身に付けてもら う中級コースにわかれて実施しました。
8	湿地帯クルーズ (生きもの観察会セカンドライフ育成コ ース)	バスツアーと一緒に湿地帯を歩き ながら湿地の生きものの観察と 管理を体験していただきます。	隔月	年6回	6月「科学の目（水生昆虫）」 8月「科学の目（ヌマガエ ル）」 10月「科学の目（ミスカマ キリ）」 12月「科学の目（ウシガエ ル）」 2月「レンジャー」（フウセン トウワタ抜き）	左記の内容で、公園のネイチャーガイド指導の 下実施しました。
9	自然調査員体験 (生きもの観察会セカンドライフ育成コ ース)	一般利用者にもリサーチを渡 し、それらのデータを蓄積し、大 学研究室などに提供する。	通年	随時	しぜん・いきもの調査員養 成講座	毎月第三土曜に「しぜん・いきもの調査 員養成講座」にて実施。トレイルカメラ 等の専門機材も使いながらデータを記録 しています
10	コンポストによる廃棄物の循環 (生きもの観察会セカンドライフ育成コ ース)	園内残渣をコンポスト化して、IP の在来菌や微生物を学びながら 循環型の環境保全を学びます。	9月	1回/年	9月「しぜん生きもの調査 隊」	抜いたコウキヤガラを「コンポスト」に 集積しました。
11	夜の昆虫観察キャンプ (生きもの観察会セカンドライフ育成コ ース)	ライトトラップで光に集まる昆虫の観 察会を行います。	7、8 月	2回/年	7月 夏休み特別イベント 「夜のいきもの観察会」 8月「夜のはばたき公園でラ イトトラップをしよう！」	ライトトラップを行い、昆虫を誘引して 観察しました。飛来した昆虫の種類は記 録を行っています。

番号	事業名	内容	実施 時期	回数	令和7年度事業名	詳細
12	生きもの星空観望会	美しい芝生の上で専門家による 星空観望会を行います。	3月	1回/年	3月「はばたき公園で星ミ ネ！」	外部講師に来園いただき、解説を交えな がら園内から見える生物に関連する星座 を観察しました。
13	観察キットの貸し出し・販売	観察キットの貸し出しを行います。 虫キット：網、虫見板、シャーレ、顕 微鏡、図板、鳥キット：双眼鏡、カ ルダ、收音器、ハトアツ	通年	随時		双眼鏡、網、顕微鏡、貸出しています。
14	はばたき公園出張授業	近隣の学校へ当公園で行う自然 教室を通常授業（生活科・理 科・総合的学習の時間）を開催 します。（おたのしみな授業） 出張授業は、学習指導要領に 則ったプログラムを基本にはば たき公園プログラムも可能です。	通年		4月「照葉北小学校3年生」 10月「照葉北小学校2年 生」 11月「四箇田小学校3年 生」 1月「はばたき小学校1年 生」	左記の4つの小学校が来園し、当公園の職 員が環境学習など行いました。
15	高校・大学向けのプログラム提 供	高校の授業や大学のゼミ、クラブ やリサーチ向けのプログラムを提供し ます。 ・ビオトープ管理士試験を 想定した管理実習講座 ・モニタリングや管理作業体 験インターナショナル ・研究データの提供や公園 内での収集支援	通年		10、11月「福岡ECO動物 海洋専門学校」	左記の専門学校が来園し、自然、生きもの など、専門知識取得の講座を行いました。
16	学びの教育・展示	生きもの展示にミニ講座開設を 添えたミュージアムの開設します。 担い手を育てる、講座を通して マシな人を育てる、講座を通 して現場でいきものを見ることが できる人を育てる、講座を通 してファンを育てる、周辺の教 育機関と連携 ミニ博物（展示例） ○ 芽吹きの草花と ○ 夏の昆虫 ○ 種子や木の実（むかし在 来） ○ 冬の渡り鳥（足跡教室）	通年	管理事 務所に 開設	管理事務所内	湿地内で採集した水生昆虫などの生体や 巣、標本を展示しています。随時自然物 に関する資料を収集し、展示コーナーを 拡大していっています。
17	「科学の目」養成講座	湿地にいるいきもの、「びりり」 「ヨナリ」「イトナ」「ゲンゴロ り」など特定の生きものを題材 に生態から生活史をわかりやす く解説し、実験・体験を交える 事でその生きものを深掘してい ただき、理解を深めていただき ます。	毎月	12回/年	科学の目	毎月第三土曜日に実施しています。講座を 受けた後に湿地内で生体を観察し、住ん でいる環境などについても理解を深めて います。
18	はばたき公園出張授業レン ジャープロジェクト	「生きもの」にやさしい公園・ 場所づくりを参加者とともに目 指す目的としてリジャープロ ジェクトを立ち上げます。リジャーは外来 種駆除・池の泥上げ・草刈り・ いきもの調査などを担当してい ただき、各年齢層（ジュニア シニア）に応じたミッションを遂行 していきます。	毎月	12回/年	はばたきレンジャープロ ジェクト	毎月第三日曜日に実施しています。月に よって対象年齢層を変えて年齢層に応じ た調査や管理作業を行っています。
19	バードハイドづくり	園内の葦等を使用したバードハ イドの観察基地の作り方を体験し ます。	1月	1回/年	月「はばたきレンジャー プロジェクト」	園内で刈り取ったヨシを使い、より若 男女問わず観察しやすいバードハイドの 作成を行いました。
20	湿地清掃ボランティア	湿地帯の清掃、外来種の除去。 事前に外来種などが及ぼす影響 のについて考え学び、参加者で 清掃、外来種の除去等を行いま す。その際、ゲーム感覚で楽しめ る様、工夫を凝らします。	通年	12回/年	はばたきレンジャープロ ジェクト	毎月第三日曜日に実施しています。ヨシや コウキヤガラ、ナルトサワギクなどの除 草の他、外来種駆除も手伝っていただい ています



毎月 1 日と 1 5 日に外に出て清掃活動を行っています。



四箇田小 3 年生の環境学習です。
約 70 名の生徒たちが学習しました。



照葉北小 3 年生の校外学習です。
約 120 名の生徒たちが学習しました。



星空観望会の様子です。
専門の講師の方の指導で、みんなで
楽しみました。最高のコンディショ
ンの中「彗星」「金星」「月」などが
しつかり観察できて大満足です。



セカンドライフイベント
「草花撮影さんぽ」の様子です。
専門の講師の指導で趣味のレベル
アップができました。



福岡 ECO 動物海洋専門学校さん
と水生昆虫調査を行いました。



「科学の目」の講義中です。毎月テーマを替えて、学習します。その後屋外に出て実際に体験します。



「しぜん生きもの調査隊」が虫取りに出発します。子どもはみんな虫が大好きです。



外来種の調査です。発見すれば駆除も行います。



中級者、上級者向けのバードウォッチング講座の様子です。少し専門的な内容で、知識のレベルアップを図ります。



定例イベントバードウォッチングの様子です。外周道路から和白干潟を望みます。



草抜き作業中です。
結構な重労働です。夏場
は午前中で終わります。



「キャンドルナイトイ
ベント」の様子です。
(3月実施)

初の試みで実験的に行
いました。気温 4℃と寒
く、それでも約 100 名
の方が来園されました。
幻想的な雰囲気演出
効果は抜群。次回は近隣
の皆さんを巻き込んで、
規模を拡大して行う計
画です。



水質調査作業中です。
年 4 回行います。
地味な作業ですが、
大事な仕事です



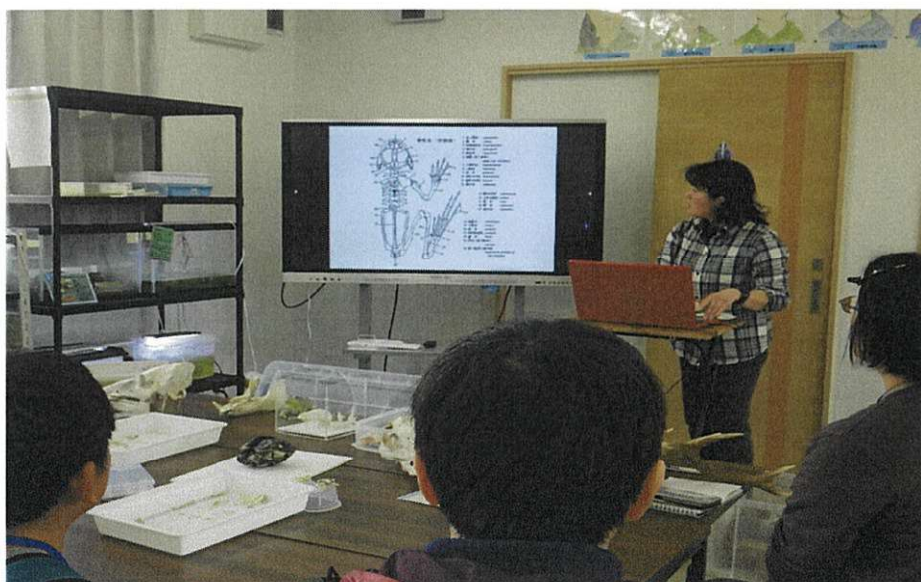
水生昆虫調査作業中です。年4回粉いました。これからソーティングが始まります。地味な作業ですが、大事な仕事です。



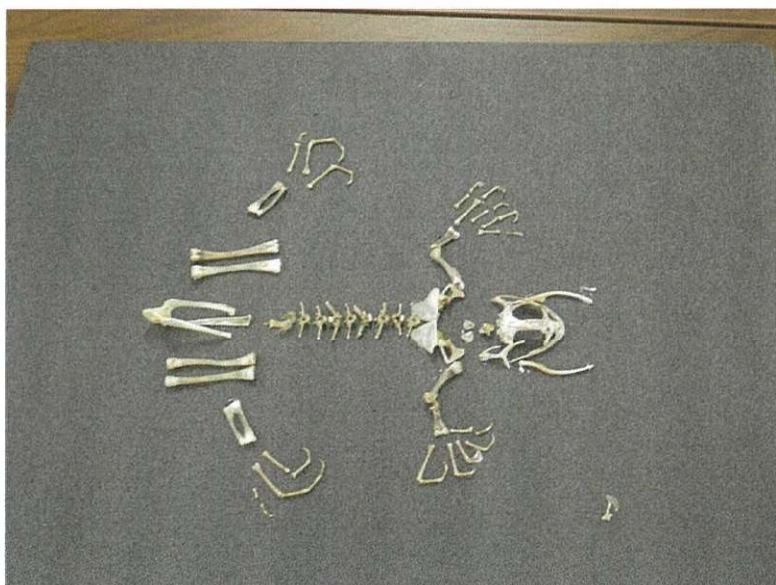
ウシガエルを捕獲しました。



鳥類の調査です。
大潮の時期を選んで行います。手作りの観察小屋です。



サポーター養成講座です。私たちと一緒にばたき公園を盛り上げていただける方を募集中です、



展示用のウシガエルの骨格標本を作成しました。
職員の「手作業」で作成しました。細かい作業は根気が要ります。



「照葉けいあい保育園」の皆さんです。天気の良い日にはよく遊びに来てくれます。
今日は「お弁当」持参でみんなでピクニックです。

はばたき公園周辺 ゴミ拾い活動



アイランドシティをはばたき公園スタッフと
生き物を観察しながら一緒に綺麗にしませんか？

参加申込不要です
飛び入り参加大歓迎！



日程

4月1日(水)
10時～12時



日程

4月15日(水)
10時～12時

集合場所

はばたき公園事務所

お問い合わせ

mail:sougouannai@habataki-park.jp
tel:092-692-7525

NEWSLETTER

ニュースレター

はばたき公園 05

2026/3月号
総集編



ミサゴ



コチドリ



クロツラヘラサギ



セイタカシギ



はばたき公園のいきものや
イベント情報をお届け！

毎月第3週土日 開催イベント

料 金：1人300円 ※日曜日は無料
申込み：各月1日から開始
人 数：各講座 先着15名

3/20 13:30 科学の目「植物の力～守る力～」
(金) 15:30 しぜん・いきもの調査員講座
「五感を使っていきもの大調査！」

3/22 13:30 サポーター養成講座「令和7年度報告会」
(日) 15:30 はばたきレンジャープロジェクト
「ナルトサウギク抜き」

9:00 もっと好きになる！バードウォッチング講座
3/21 10:45 初心者向けバードウォッチング講座
(土) 13:30 科学の目「ナノホシテントウ」
15:30 しぜん・いきもの調査員養成講座
「早春のいきもの大調査」

お申込み方法



左記申込みフォームで先着順に受付いたします。
受付後、参加決定者にはメールにて詳細案内を
お送りします。

※未就学児の参加は保護者同伴でお願いします。
※イベント時は写真を撮ります。写りたくない方は事前にお伝えください。
※野鳥に配慮し、湿地内や営巣地への立ち入りを制限して行います。

※保護者様が同伴する場合、1人分の参加費をいただきますので予めご了承ください。
※申し込み時の連絡先をお知らせ案内に使用することがあります。

はばたきエコパーク・マネジメントチーム共同事業体

アイランドシティはばたき公園

〒813-0017 福岡県東区香椎照葉7丁目

【TEL】 092-692-7525 【FAX】 092-692-7528

【MAIL】 sougouannai@habataki-park.jp(総合案内)



HP



Instagram



アイランドシティ
まちびらき 20周年



はばたき公園 バードウォッチング



はばたき公園の専門スタッフと一緒に
この時期にみられる鳥たちを
じっくりと観察してみませんか？



講師：岩松 慎一郎
太宰府ワイルド ライフサイエンス代表
日本鳥学会員
生物分類技能検定鳥類1級

今回は中級者編と上級者編の
2つに分けて開催します！
ふだんのバードウォッチングではちょっと物足
りない人などのご参加お待ちしております。

次の一歩が見えてくるバードウォッチング ～中級者編～



日時	2026年2月23日(月) 9:00-10:30
集合場所	はばたき公園管理事務所
内容	一歩踏み込んだ鳥の観察の仕方、 楽しみ方を学ぶ講座です。
講師	岩松 慎一郎
参加費	300円

申込み詳細 【TEL】 092-692-7525 【FAX】 092-692-7528
【MAIL】 sougouannai@habataki-park.jp(総合案内)

申し込みは2月1日より受付開始いたします。

※雨天時は環境講話などを実施します(荒天中止)

野鳥の繁殖への配慮や天候によって一部湿地内への立ち入りを制限する場合があります。

イベント申込みは左記専用フォームにて、月日より各講座名先着順にて受付いたします。

受付後、参加決定者にはメールにて詳細のご案内をお送りいたします。

※未就学児の参加は保護者同伴でお願いします。

あなたが伝えるバードウォッチング ～上級者編～



日時	2026年2月23日(月) 10:45-12:15
集合場所	はばたき公園管理事務所
内容	野鳥の魅力をみんなに伝えたい 人のための講座です。
講師	岩松 慎一郎
参加費	300円

お申込みはこちらから



はばたきエコパーク・マネジメントチーム共同事業体

キャンドルナイト

2026 3.7 Sat 18:00-20:00
はばたき公園芝生広場

キャンドルアートで芝生広場を一夜限りの

ライトアップ!!

灯籠を並べて、芝生広場に
大きな鳥を飛ばしましょう!



キャンドルアート



当日スタッフ募集

当日お手伝いをしていただける方を募集します。
17:00ごろ事務所にお越しください。
灯籠を並べたり、火を付けたりする作業をスタッフと一緒に
していきましょう。

※小学生以下の参加は保護者同伴をお願いします。

※イベント時は写真を撮影します。写りたくない方は事前にお伝えください。

※申し込み時の連絡先をお知らせ案内に使用することがあります。

※雨天等で中止する場合は、当日の12:00までにHPにてお知らせします。



イベント申込み
フォーム

はばたきエコパーク・マネジメントチーム共同事業体

アイランドシティはばたき公園

〒813-0017 福岡県東区香椎照葉7丁目

【TEL】092-692-7525 【FAX】092-692-7528

【MAIL】sougouannai@habataki-park.jp(総合案内)



HP



公式Instagram